京城日報

十二月一日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇牧野男等出發期
園侯の出發は十二月下旬か

講和委員牧野男及び隨員一行は來る十二月十日東洋汽船天洋丸にて橫濱出帆巴里に向ふ事に決定せり尙西園寺侯の出發期は未定なるも侯は一先づ京都に赴き旅裝を整へたる上十二月二十九日橫濱出帆の春洋丸にて出發することゝなるべし（東京特電）

◇米國使節決定か

華盛頓來電＝大統領ウィルソン氏夫妻は感謝祭に列席したるが其際同夫妻は數人の服裝者と白堊館に於て晩餐を取れり席上大統領は數時間を費して議會に對する教書を認めたるが右は恐らく講和使節の決定を發表せるものなるべし但し公式には未だ何等の發表なし（東京特電）

◇聯合軍ライン河岸占領

某所著電＝聯合軍は休戰條約に依りライン河東岸の橋頭堡三個及び同河西岸全部を占領進入すべく米國はコブレンツ、英軍はケルン、佛軍はマインツを占領すべし（東京特電）

◇獨國民議會開期

チュリッヒ來電＝ローカル、アンツァイゲル紙の所報に依れば獨逸國民議會は遠からずフランクフルトに於て開かるべし而して全獨逸は四十の選擧區に區分せらるべし（東京特電）

◇徐總統督軍協議

徐總統は三十日午前王占元、張作霖、曹錕諸氏を招致し內閣問題及び南北妥協に關する件を協議すべく之等の督軍は二十九日出京の筈なるが都合に依り兩三日延期さる可し（北京特電）

◇陸講和使節出發期決定

支那講和使節陸徵祥氏一行は愈十二月一日北京出發日本に立寄りたる上十四日橫濱出帆の諏訪丸及び米國船コロンビヤ號に分乘して渡歐の事に決定せり（北京特電）

◇海軍進級

十一月三十日附左の通り發令あり（東京特電）

海軍少將　森越太郎
同　木村剛
同　山中柴吉
同　小笠原長生
同　田所廣海
同　山路一善
任海軍中將（各通）　森山慶三郎

造船總監　淺岡滿俊
陞敍高等官一等

海軍大佐　丸橋彥三郎
同　岡田三善
同　大山鷹之助
同　中川繁丑
同　齋藤七五郎
同　竹內重利
同　中里重次
同　秋澤芳馬
同　白石直
任海軍少將（各通）

海軍機關大佐　宮川邦基
任海軍機關少將

海軍大主計　山崎不二雄
任海軍主計少監

造船大監子爵　大久保立
任造船總監

◇海軍轉補

十一月三十日附左の通り海軍武官の異動發表ありたり（東京特電）

補吳鎭守府司令長官　佐世保鎭守府司令長官海軍中將　八代六郎
補佐世保鎭守府司令長官　舞鶴鎭守府司令長官海軍中將　財部彪
補舞鶴鎭守府司令長官　海軍兵學校長海軍中將　野間口兼雄
補海軍兵學校長　海軍將官會議員海軍中將　鈴木貫太郎
補海軍將官會議員　第三艦隊司令官海軍中將　有馬良橘
補第三艦隊司令長官　旅順要港部司令官海軍中將　黑井悌次郎
補旅順要港部司令官　海軍將官會議員海軍中將　松村龍雄
補鎭海要港部司令官　海軍將官會議員海軍中將　田所廣海
補海軍將官會議員　鎭海要港部司令官海軍中將　東鄕吉太郎
補海軍將官會議員　海軍省技術本部出仕海軍中將　森越太郎
補海軍省技術本部第一部長　佐世保鎭守府造兵部長海軍少將　河田勝治
補佐世保工廠造兵部長　第一水雷戰隊司令海軍少將　中島資朋
補海軍水雷學校長　第一艦隊參謀海軍少將　齋藤半六
補第一艦隊參謀長　橫須賀鎭守府參謀海軍少將　舟越揖四郎
補橫須賀鎭守府參謀長　海軍將官會議員海軍少將　加藤寬治
補海軍軍令部出仕　吳鎭守府參謀海軍少將　松村純一
補吳鎭守府參謀長　第三艦隊參謀長海軍少將　齋藤七五郎
補第三艦隊參謀長　海軍軍務局員海軍大佐　古川鐵三郎
補海軍軍令部出仕　扶桑艦長海軍大佐　竹內重利
補第三艦隊機關長　第二艦隊機關長海軍機關少將　大楠省
補第一艦隊機關長　海軍機關大佐　岩淺季貫
補橫須賀鎭守府機關長　山崎位
補橫須賀鎭守府經理部長　吳工廠會計部長海軍主計大監　相原文四郎
補佐世保鎭守府經理部長　山田佐久
補海軍省技術本部第四部長　佐世保工廠造船部長海軍造船大監　大久保立
補橫須賀工廠造船部長

◇高橋男爵薨去

男爵高橋新吉氏は病氣危篤中のところ卅日午前七時薨去せり（東京特電）

▲略歷　故正五位勳二等、貴族院議員、錦鷄間祗候高橋新吉氏は薩摩藩士高橋七郎の二男にして天保十四年三月二十八日を以て生る少時長崎に遊び洋學を修め同志と謀り和英字彙を著はし發售して資を得明治三年米國に航し在留四年にして歸朝租稅寮に出仕し爾後大藏權少書記官、長崎稅關長、長崎縣大書記官、農商務書記官、大藏省商務局長等を歷任し同二十一年官を辭め九州鐵道會社々長となり勅任十二年同三十年貴族院議員に勅選せらる同三十二年日本勸業銀行總裁に任ぜられ久しく其職にありしが後に之を辭せり大正三年事件の功に依り勳二等に陞敍し瑞寶章を授けらる享年七十有八

◇漢銀支店披露

漢城銀行にては今回東京市京橋區南傳馬町二丁目に東京支店を開設することゝなりたるが之れより先き諸般の準備のため東上中の同行專務取締役韓相龍氏は三十日午後五時半帝國ホテルに於て開店披露宴を開き各大臣を始め關係官吏及び主なる實業家同業者並に朝鮮關係者を招待したるが席上韓相龍氏は同行の由來及び東京支店設の趣旨に就き挨拶をなし高橋大藏大臣謝辭を述べ原首相、山本農相、目賀田男、澁澤男、美濃部鮮銀總裁の演說あり更に高橋藏相は再び壇上に起ちて漢城銀行の萬歲を三唱し食後別室に於て主客懇談し同十時散會したるが出席者約百名近來稀なる盛會なりき尙當日出席の筈なりし寺內伯は病氣の爲め又長谷川總督は旅行中のことゝて何れも出席せざりき因に當日出席者の主なるものは左の如し（東京特電）

原首相▲高橋藏相▲床次內相▲中橋文相▲山本農相▲野田遞相▲古賀拓殖局長官▲目賀田男▲田尻東京市長▲澁澤男▲阪谷男▲岡野總監▲大塚農商務次官▲西野計局長▲國分李王職次官▲大倉男▲東山東京商議會頭▲水町日銀副總裁▲池田三井重役▲柳生商議銀頭取▲服部銀監事▲櫻原正金副頭取▲水越拓銀頭取▲有賀三井重役▲原田日郵役

東京便り
十一月廿五日　一寄書家

◇西園寺侯の入京以來、元老の意嚮を尊するもの多く、於近山縣公の入京說は一層此の嚮を甚しうしたる感之有候。然れども侯公共、尋常隊定の來往に之れ有り、所謂元老會議は今日の場合十中八九迄は之が開催を見ざるべき模樣に候

◇西園寺侯が原首相を私邸に訪ひ、又內田外相の侯を東京驛の旅亭に訪へるは事實に之れ有り候。前者は侯が個人として帝國の宰相に敬意を表せるもの、後者は原が當時の約に隨ひ、外相をして最近時局の詳細を報告せしめたるに過ぎず共に講和大使の銓任等に關係あるのにあらず

◇本日公の入京するや、首相外相等の往訪は相ひ之れあり、而かも原への物に臨へば「最近の局面に關する要談は一回の會見に依り大體を遂げし」めて元老と談の必要を見ざる理由に候。

◇講和會議と帝國の條件並に使節派の經過曲折に就ては、前回の報道したる通りに候。國際聯盟は來るべき講和會議と、政府の同の大使特派は、先づ前者の會商に參列するを目的とするものに候。隨つて後者の會商に對する帝國の態度は未だ確定せず、乎は別に追つて考慮を拂はるべく、又該議に對する委員の如きも、其の場合に臨みて何分の措置を講ぜらるゝ都合に候

◇陸軍の軍備擴張計畫は、暫時見合せとなり、明年度豫算に之が經費を計上せざる事と相成り候。田中陸相が一昨日小田原古稀庵に訪へるは、卽ち之れが報告の爲めに候。隨つて明年度豫算は從來と平凡化せられたる譯に候

◇然れども帝國陸軍は、所謂軍國主義に附せざるは勿論に候へども、殊に兵器の新設、一般兵器の改良、帝國沿岸防衛の整備等は急務中の急務に候。政府は適當の計畫を定め、順次理想的完備を期せざるべからず候

◇[illegible]は、[illegible]と內閣の[illegible]との爲め、[illegible]外に遲延致し候。[illegible]兩三日臨時閣議開きても之れが決定を見ず、[illegible]愈々閣議に上程せらるべく、[illegible]豫算編製[illegible]困難視せらるゝも、案ずるより產むが易しと云へば[illegible]平凡にしても、[illegible]案外容易に[illegible]やも知れず候。たゞ[illegible]如何が聊か問題なり

◎條件緩和事情
糧食石炭配給難

獨逸政府の休戰條件緩和要求は聯合國側殊に佛國の猛烈なる反對の爲に拒絕せられんとする情勢に在るが其筋著の情報を綜合すれば獨逸の該要求は國內の窮狀に餘儀なくせられたるに基因せるが如し

▲糧食石炭の配給は頗る交通機關の運用及び物資の缺乏は益其度を高めたる圓滑を缺ぎ加ふるに漸次增加するもの、如く最近に於ては聯邦內の各州に於ても糧食石炭等の配給に關し常に紛擾を絕たざりしが如く就中ザクセンプロイセン間の如きは其抗爭頗る度に達せりと云ふ從つて休戰後各州獨立して共和國たらんとする情勢は一層此傾向を高からしめつゝあるに今回休戰條約中に含まれたる聯合國に引渡すべき鐵道機關車貨車の數は全獨逸所有高の約四分の一に達するを以て今日悉皆之を引渡す時は國內に於ける不足せる糧食の配給は

▲益々困難となり今後嚴冬に向ふに拘らず石炭配給も一樣の狀態となり爲に國內一般に饑餓に襲はるゝ結果過激思想の傳播を助長しリーヴクネヒト一派のスパルタカス團に活躍の餘地を與ふることゝなるは明かなれば之を防遏せんとして比較的穩健なる社會黨多數派は政府當局と共に條件の緩和を要求せるものなりと（東京）

◎皮革界の將來
賀田直治氏談

講和來と皮革業者の前途に就き賀田組社長は曰く皮革事業の歷史を回顧するに日清戰役の後も日露戰役の後も約三年間は

▲不況時代を續けたのであるこれは皮革業者が戰爭の前途を見當附かず戰時中高くなつた皮を買溜めてゐたのに急に平和が來て皮革は下る又戰後の不景氣がその需要を減ずるそれに戰禍を蒙らぬ外國品の突入があつて競爭に負ると云ふ理由より來たものである然し乍ら這回の世界戰爭が濟んだからとて假に日清日露役後の如き不況時代が來るかと云ふに必ずしも然らずと思ふ何故なれば今回の戰爭は日清日露と云ふ如く兩國の戰爭でなくその參加は二十餘箇國に上り最も戰爭により痛手を受けたものは英佛獨伊等の列强であり講和が來ても之等列强より當分の間

▲日本の皮革界を脅かす如き侵略はあるまいと思ふから從つて吾が皮革製品需要の前途は必ずしも減ぜざるべく悲觀すべき必要はないのであらう唯戰後皮革製品の値が幾分でも引緩むことあれば戰時中に買つてある高價の原皮所有者は幾分の打擊を受くる譯であるが此方は先づ大した事はあるまい然し乍ら米國の活躍は吾人の大に注意せねばならぬ所である現に米國の皮革業者は政府の後援があるのか若くは獨力でか精良なる製品を西比利亞方面に仕送りて盛に其の商圈を擴めて日本製品の入るを許さゞる勢ひを示してる地の利に於て

▲西伯利亞の皮革製品は當然日本によつて占めらるべきものであるに拘らずその一角に夙く米國の蹂躪を見んとするは吾が皮革業者の大に奮勵を要する點である又西伯利の有產階級の諸人は贅澤な靴を用ふる風あり獨逸の靴を愛用してゐたのであるから此れない之等に對して日本の製靴業者は十分に精品を作向くるの策を樹つるの必要あるべく朝鮮に根據を置く朝鮮皮革は十分留意して戰後の對策を講究してる要する所は西伯利

▲支那南洋等なるべく當業者中には樂觀悲觀の觀察は生んであるが現狀より見て必ずしも悲觀に及ばぬ然し又樂觀も出來ないと思ふ更に皮革類は戰爭終熄と共に世界的需要の幾分減ぜりとはいへ[illegible]るべく今後其値段は先づ軟調を辿ることゝ稱して大なる誤りはあるまい

◎事業資金便法
殖產銀行の計畫

不動產を提供して長期低利の事業資金の融通を得る事は從來朝鮮にては農工銀行之れに當りゐたれど同行の業務は

▲農工方面のみに限られゐたるを以て如何に有利の事業なりとするも商業資金を不動產擔保による貸出す事は不可能なりき故に此種の資金を得んとする商工業者にして普通銀行に求むるか高利の個人金貸業者に金融の途を附せしむるか兩者その一を選む外なかりしも叙上の資金は性質上長期に亘るを以て普通銀行にてはその貸出しを喜ばざる理由ありさりとて之れを個人金貸に持ち行けば格外の高利を附せらるゝを以て非常の不利益あり旁此種金融機關の不備頃の急務は事業經營者に於て夙に唱へられゐたるが朝鮮殖產銀行の

▲勸業金融部にては將來此種資金の貸出しを開始すべく目下夫れ夫れ準備中なるがその第一義とし融資の經營者確實有望の事業ならざるべからざる制限は附する由なれどその普及を見るに至らば大小企業者の受くる利益は少からざるべきか尙ほ殖銀は前記の目的に協ふものは舊債の整理にも不動產擔保長期低利の事業資金を貸出す豫定なりと

◎輕鐵認可か

忠南輕鐵は天安より牙山港に到着、忠南鳳凰を起點とし忠南海岸各樞要地を經て京釜線天安に至る延長九十六哩の忠南輕鐵敷設は多年群山阪下貞信氏大平德三郎氏等に依り計畫中消せられつゝありしが不幸漸く機運熟し阪下氏外內地有力者十名の發起人と義を以て過般忠南道廳を經て總督府に認可申請中なりしが其筋當局に於ても調査の結果愈々認可の方針決定したるもの、如く最近忠南道廳を經て貞信氏に宛て敷設權申請人代表者なる件は忠南輕鐵株式會社設立認可申請に關する件と同時に讓渡すべきに付更に至急會社設立許可申請書を提出すべき旨通達ありたりと（群山）

西伯利亞行（三）
於哈爾賓　モエ生

哈爾賓頭先ず腦裡に浮ぶものは十年前に於ける伊藤公の遭難なり、吉林街に於ける伊藤公の遺跡[illegible]死に映ずる今は[illegible]有り、化のカーキー服勢力の推移に心に堪へず、國に歸化したる人も、人と争つて日本人たるを誇る。聞く今日の哈爾賓は最も提神無根不祥理なるものか破壞の忿るべく回復、容易ならざるなきはしむ。邦人の手によつて爲すべき事業多きければ、からざるも北市中には多き八十ヶ國人と十八萬の支那人と五千の日本人とが少数の[illegible]人さ[illegible]行する人は國辭の水道もなければ電車も設けられず、タキシーもなし而も一日中の活動時には冬は僅かに五時間足らず猶も椅子も人急ぎなれど路面は栗石の兀かく車は傷んでも修めず馬は瘠せ人は穢く紅塵高く丈にして飮用水は臭氣烈し人馬の往來頻繁にして商取引の多額なる時に支那市街の殷盛なる寧ろ奇に世界大道の要衝にありて時には大醉服へ容易に其種を見ざるべし此の滿洲へ轉て此れにへり邦人の蹴躍を見る快けば即ち快なりと雖も時代の急轉に邦人此の準備足らざるかを思はしむ

惜しき事しけりと思ふ露路の旅拾ふ胡、の盛へ饒もなし明日は西方滿洲里に向ふべし（十一月二十七日）

人事消息

▲片山繁雄氏（鮮銀理事）一日朝釜山上陸北行（釜山特電）
▲石塚峻氏（總督府技師）一日正午入京　巴城館へ

酒前茶後

◆吾人は曾て、偉人出で、統一するに非ずんば、西伯利は永遠に混沌たるべしと云へり。然り、西伯利は激派其の影を沒するも、西伯利は猶ほ未だ混沌たり。各露政府、西伯利政府、セミョノフ、ホルワット、コルチャック等、離合常なく、人をして其行動に躊躇せしむるもの多し。孰れが是、孰れが非。觀じ來れば、區々勢力の爭ひのみ。斯て何れの日か西伯利の統一を見るものぞ。然り、列國は之を環視して、一塊の餘肉と見るか。

◆土耳其は將に亡びんとす。見よ、半月旗の影の澹きよ。回教の殿堂は徒らに輪奐の美を誇るも、國家の內容は驚くべき貧弱にして、過去を守り居たり土耳其も、愈迫り來る其末路には遂に自滅の他なく、彼等は漸く越ゆて亞細亞に、思ひ出多き歷史を作らん。

◆彼等の國家は將に亡びんとするも、國民の贅澤は依然たるものあり。一夫多妻の國俗とは云へ、富家は悉く數人乃至數十人の美姬を蓄へ、綺羅を飾り、美味に飽き、宛然たる成金理想國の觀を呈す。土耳其の亡ぶるや、蓋し今日に現はれたるものにして、其現はれざる根柢は、決して今日に始まりしに非ず。彼等は最早、他を恐むき資格を缺けり、易々として、此の運命に從はざるべからず。

◆平民にして既に然り、皇室等に至りては、其奢侈らしき事、恐らく世界第一を以て推すに足るべし。宮女三千妃三百、輕羅を纏し、宮補を窮し、粉白黛綠なるもの甍を列ねて閑居す。皇室の此の濫費として、國家の支出するもの、年々二千萬圓以上に達す。上下斯の如し、自ら招きたる滅亡にして、七花八裂の慘に遇ふ亦止むなしとするも、其末路や同情に價するもの、無きにしもあらざる也。

釜山海底電線事歷（一）
神田釜山郵便局長談

京城大阪及び東京を接續する電信線は去る十一月廿六日を以て通信を開始し內地朝鮮間に於る電信回線に更に一回線を加へたるのは吾々同慶に堪へざる次第なるが此の機會に於て朝鮮に對し頗る重大なる意義を有する釜山海底線の事歷を追懷し以て江湖の一粲に供せんとす

現時朝鮮內地間を聯絡する電信回線は釜山下關間、京城東京間、京城大阪間、京城下關間及び元山松江間の五線に最近設備の京城東京間を加へ都合六回線を有することゝなつた譯であるが是等電信線の大部分は何れも皆韓國併合後に於て新に設備せられたもので以前は唯一の釜山長崎線が存在して居つたのみである此の釜山長崎線は元肥前國呼子より壹岐郷之浦を經て對州嚴原に至る約五十九浬の海底線と對州小茂田より釜山に至る約五十三浬の海底線とそれに長崎呼子間及び嚴原小茂田間の陸線と相聯絡して成れて居つたのである此の釜山長崎線中の陸線及び通信局は總て日本政府で之を建設し海底線は丁抹國の大北電信會社が帝國政府より與へた明治十五年十二月二十八日附の免許狀に依りて敷設したのである而して同會社が得た朝鮮側の免許狀は何であるかといふに翌十六年三月三日附であつて其形式は釜山海底線設置條款と稱し

▲日本政府と朝鮮政府との間に結びたる一の條約であつて其內容は大北會社の爲に海底電線揚陸の特權を與ふることゝ日本政府の電信局を釜山に置くこと朝鮮の海外電報は此の海底線を經由すべきことゝ此の海底線の通信開始の日より二十五年間は之と對抗して利益を爭ふ電線を架設せざること等であつた斯の如くにして釜山海底線は明治十六年十一月に竣工し翌十七年二月十五日より通信を開始したのである明治十六年に帝國政府が大北會社に與へた免許狀は二十年間我が海外通信專有權を會社に與へ後更に十年間延期したる爲に時勢の進步に伴なひ何かと不利不便を感ずることゝなり兎角當時の責任者に對し非難の聲を放つものもあつたやうであるが併し此の大北會社の名義を以て釜山線の權利を確保したといふことは確に朝鮮に對する我外交の一大成功であつたと斷言するに躊躇しないのである何故かと云ふに當時京城に於ける日清勢力の消長は一に繫つて通信機關の確立如何に存したので此間の機微を洞察した我國政府にては機逸すべからずと爲し朝鮮政府と前記の如き條約を取結び大北會社をして急速釜山線を敷設せしめ機先を制し斯て朝鮮海外電信專掌權を我手に收めたことは誠に能く機宜を得たる巧妙の措置にて確に大成功と謂ふべきである

本紙定價　壹部參錢　壹箇月七十五錢▲前金貳圓拾五錢▲六箇月同四圓拾錢▲壹箇年同八圓▲郵券代用二割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五十錢▲二號七字詰同二圓▲三號九字詰同三圓
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
電話番號　[illegible]　振替京城三〇〇番

大正七年七月一日改正現行

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通壹丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
支配人　石鎭衡
電話長六、〇一一番
支店　水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所　釜山鍾路、東幕

八角鋼、黑鉛用金網、其他鋼製作
ストーブ各種建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候
京城本町一丁目　直輸入商
佐野彥藏商店
電話一六三番、振替京城二一〇番

朝鮮總督元帥伯爵　長谷川閣下題字
貴族院議員　松甫閣下題字
宮崎雪堂著
朝鮮鑛業指針
附　朝鮮鑛業法令
▲菊版▲洋裝七百頁▲定價金參圓▲送料拾貳錢
著者ハ博學多才ノ士ニシテ幾多鑛業家ノ實地ヲ[illegible]年ノ歲月ヲ費シテ本書ヲ公刊セラル今其大要ヲ擧グレバ第一章總論▲第二章鑛業界ノ變遷▲第三章總督府ノ施設▲第四章重要鑛物▲第五章探鑛▲第六章鑛業ノ趨勢▲第七章補遺▲第八章法規▲第九章朝鮮鑛業地圖ヲ添付セリ敢テ鑛業家及一般實業家ノ一讀ヲ勸ム詳密ナル朝鮮鑛[illegible]
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部　電話構內十三番　振替京城三〇〇番

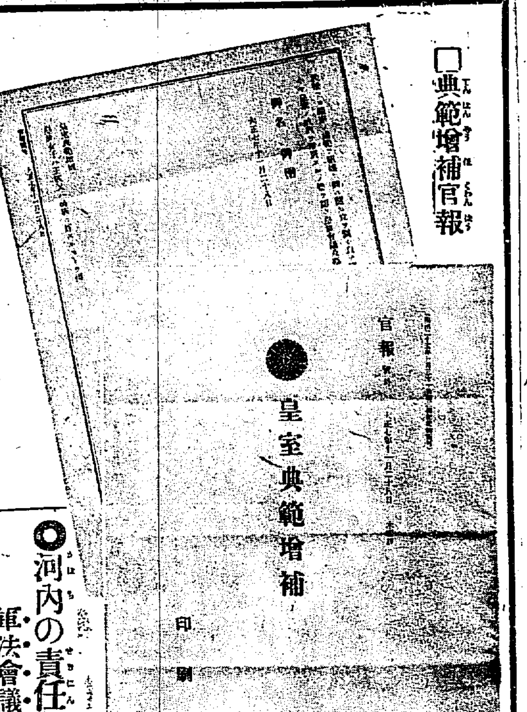
債券　來るべき年頭のくじ　一月四日
株式會社勸業債券月報社（本店日本勸業銀行構內）
福岡支店　福岡市下吳服町　電話一五四五番振替福岡九五九〇番

勿逸此好機
巨額ノ資金ト相場惡渡米ヲ背景トセル軟派ノ脅脈遂ニ敗レ爲ニ米價ハ一段ノ崩高ヲ演ゼリ。而モ斯界ノ狀勢ヲ達觀セバ外米輸入計畫諸鮮米移入休戰後ノ食糧問題諸物價暴落正米滯集等一トシテ期米低下ノ誘因ナラザルハ莫シ爰ニ第十一同ヲ組織シ敢テ江湖ノ加盟ヲ薦ム
申込期間　十二月拾貳日迄
加入金　金口參拾圓（現金代用不苦）
▲會則贈呈▼
日本信託商會證券部
期米青同氣會
大阪市北區堂島濱通一丁目二二
電話北（長）九二七・一九〇・四〇　振大四〇五六九

御進物御贈答品は本場みかんに限る
本年は品種各種取揃へ有り箱以上は卸價格にて迅速御送達可仕候
果物海產物青物委托販賣
問屋　岩城商會
京城南米倉町　電話八四[illegible]番　振替京城一〇〇六番
紀州柑橘組合指定問屋
[illegible]生命保險株式會社京城代理店

▲軍隊拂下被服類▼
京城府北米倉町
電話千百十二番
村上商店
營業品目　[illegible]

□典範増補官報


官報
皇室典範増補
印刷局

◎講和委員の旅館 或は佛蘭西日本大使館か

講和委員牧野男等一行の巴里に於ける旅館は目下各國よりの申し込み非常に多き爲め適當なる處所無く目下外務當局と佛國大使館との間に交渉中なるが若し適當の旅館を得る能はざる場合は大使館を以て之れに當つべしと（東京特電）

▽巴里著は一月半……巴里から會場へ自動車で四十分

講和會議に列席する我特派委員（西園寺大使を除く）牧野男爵以下一行は來月七日乃至八日の兩日中に東洋汽船の天洋丸で出發することに決したるが順路は米、英を經て佛國へ向ふ筈で其豫定日數は約一箇月半であるが到着の上は巴里の宿から **毎日自動車** で會場へ通ふのであるから西園寺侯の健康は案外良好で追付出發されると思ふ一行の航程は先づ横濱から桑港迄十七日間を要し夫れから陸路紐育へ行くのだが今日の事情からして約一週間を要するものと見ねばならぬ紐育から英國まで五日間夫れより更に佛國へ向ふ順序となる斯んな譯で豫定日數は一箇月半と見てある又一行は **巴里に滯在** することになつて居る巴里よりベルサイユへは自動車で四十分位を要するのであらう（東京）

◎露國皇女の遺骸を烏山中から發見

最近歸客は語る十月九日烏拉爾州のアラタエグス市で六月以來行方不明であつた露國內親王エリザベタフエドローウナの葬儀があつた露國皇族で而も繊弱い女性の身として幾多の辛酸を嘗めた擧句遂に **非命の最期** を遂げたる同內親王はロマノフ家没落當時兵營の監視の下にアラバイフスク市に住んで居たが一夜闇に乗じて西伯利亞方面に逃れ出でたが不幸にして赤衛軍の爲め捕へられさうく殺害されたのである稍して內親王の遺骸が **烏拉爾山中** の某高山の深き竪穴內から發見されたが頭を下にして投げたらしい形跡があり遺骸は滅茶々々になつて居たさいふこだ斯てアラバイフスク支隊は遺骸を引揚げ市の寺院に厚く葬つたが會葬者は僅の有志の者許りであつたと

◎河內の責任者 軍法會議に附さる

去る七月十二日周防德山灣に於て爆沈したる戰艦河內艦長正木大佐以下の將校下士卒に對しては過般來土屋中將査問委員長となり橫須賀鎮守府軍法會議主理等を併して審理中なりし處廿六日愈々終了正木大佐以下を軍法會議に附する事となりたるを以て判士長判士の任命近く發表さるべし（横須賀）

◎沼津で貨車砲擊 一日より試驗

陸軍技術本部にては歐洲戰劇に鑑み軍需品及び軍隊輸送中敵の襲擊を受けたる際貨物列車に砲を据付けて之を **◇擊攘する** 爲め今回裝甲貨車砲なるものを案出したるが北津蛇松線は平素貨物輸送少く至極試驗場に適當なる爲め同線にて試驗を行ふ事に決定し二十八日大塚砲兵大尉は下士卒數名と共に來沼愈々十二月一日より蛇松線狩野川岸の畑耕地に一門一文字發射地內に **◇一門を据** 付けて駿河灣大瀬崎の前面に向ひ蛇松を距る二里の海上に目標を置き午前八時空砲一發を以て開始し午後四時までに二十發の空砲を發射し貨車の動搖其他を試驗する筈（沼津）

◎大山公の銅像 原型成る

奥、黒木、長谷川、上原等の將軍發起となり建立する事となりし故大山元帥の銅像は新海竹太郎氏原型を製作中の處此程大部分出來上がりたるより建立委員は過般其下檢分を爲したるが總長十二尺ありて生けるが如き **◇馬上の英姿** にして新海氏は故公と昵近なりしより製作上便宜少からず北溫容は實に故公を髣髴せしむる者あり一同大いに感嘆せりと右に付參謀本部和田副官は曰く『原型は來年早々完成しそれより **◇講和成立し** て平和の輝く四五月頃迄に鑄造を終る豫定で多分砲兵工廠で鑄造する事になるであらう建立の場所は參謀本部內有栖川宮の銅像より三百間許り離れた陸地測量部修技所の側に定めてあるが或は變更するかも知れぬ』（東京）

◎派遣艦 矢矧凱旋 三年振で南洋から

約三年間地中海より新嘉坡方面に在りし軍艦矢矧は千歳の到着を待ち十二月一日新嘉坡發五日馬尼拉に入り七日同港を發し十二日佐世保軍港に着十五日發十六日呉に凱旋すべし其他の各艦も續々凱旋する旨公電鎮守府に達せり

◎全乘客三百四十溺死 ソフイヤ號氷島附近に沈沒す

加奈陀太平洋汽船會社セント、ソフイヤ號は三百四十三名の乘客及び船員乘組みアラスカよりリバープールに向ふ途中怒濤の爲アイスランド嶋附近の暗礁に乘上げて沈沒し乘客船員三百四十三名全部溺死せる旨歸來商船墨西哥丸船客は語れり（横濱特電）

◎安東縣近事

▲大尉は二十七日午前來安元寶館に出發吉林方面へ出張すべしと ◆米國支那公使館附武官大尉グエ…… ▲立石參事官去 農商務省參事官…… ▲鴨綠江山の…… 六日月並演奏會を催す由なれば定めて盛會なるべし ▲傳染病は殆んで年中絶間なき有樣なるが昨今に於ても二三の新患者…… の收穫中旬蜂蜜收穫下旬秋繭…… 農家は本月に入り上旬在、押、寄…… 增收なり…… ありて昨年に比し六千八百餘石の…… ▲通貨流通の狀況▲ 通貨は朝鮮銀行券近來大いに膨脹……

◎放浪の旅へ ◇獨逸より釋放◇されし露窮民

衣薄く食乏しき彼等はその途に倒る

ペトログラード來電＝獨逸より釋放されし多數の露國民は國境より放浪の旅に上りたるが彼等は衣服及び食物缺乏の爲め非常の苦心をなし居れり彼等の多數は跣足にて加之に身體の疲勞と肺癆とに惱まされ街路に倒るゝ者頻出しつゝあり、レニは地方都兵營に向ひ必死に彼等の救助を乞へるも其効更に無し（東京特電）

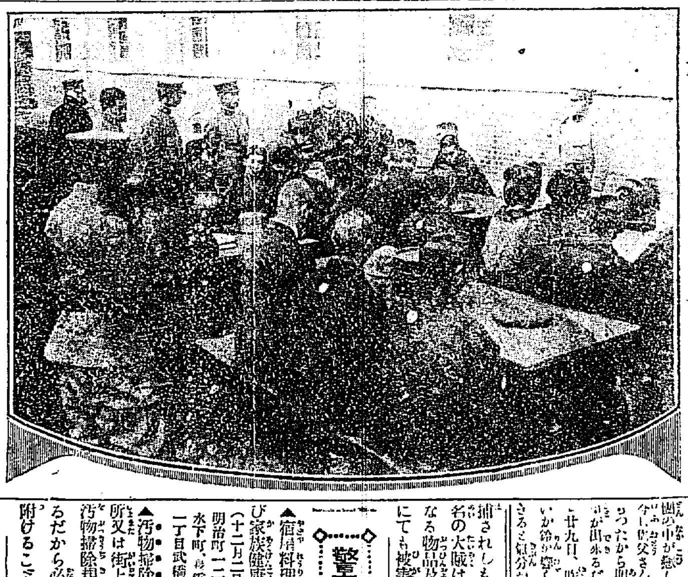
◎寒心に堪へない 豫習問題について 父兄側曰く

教育當事者に於ても既に中等學入學試驗準備の豫習問題が効渺くして害多き事を自覺したる上は早晩何等かの具體的解決を見る事であらうが今問題の中心となり居る六學年兒童を有する父兄達の意見を聞くと斯うである『二學期も終らんとして居るので **▲試驗準備** に付いてはおのずから互に心配もして居る豫習問題が大分喧しくなつたやうだがそれは父兄側からも學校へ對して種々な註文もあるだらうし學校でもまた成べく其希望に副はんとして種々苦心をして滿足を與へんとするのは已むを得ない事であるがそれが遂には學校の競走となり終りには兒童を擲つて學校の名譽の具に供するさ云ふ弊風に至つたのであると思はれるが當局者としても充分の研究を講じ **▲矯正の途** を講ぜらるる事ではあらうが由來京城に於ける小學校の豫習と言ふは隨分英邁氣のものであつた昨年など或小學校の六年生受持教員は豫習の爲に遂に神經衰弱に陷つたさへあるさ云ふ事である教員に於て既にこんな有樣であるから倚ほ一層の努力を要する兒童に於いてをやである漸く豫習の効あつて入學の榮冠を得ても其處には幾多の **▲悲喜劇が** 演ぜらるる事を思へば眞に寒心に堪へない次第である我々家庭に於いても充分注意を要すべき問題であるが學校に於ても豫習は全然廢して正當時間內の教授に全力を注がれ度いものである』と

◎今日から新兵 龍山兩聯隊で千六百名

旗差物に送られて入營した者も嚙んで含めるやうに親切な古兵の世話

一日は入營日なので龍山の七十八、七十九兩聯隊は暗い中から眼が廻る程混雜した、七十九聯隊の新兵は合計七百九十七名で中七百八十名はこの朝六時二十九分の汽車で內地から來たもの殘餘の十七名は **▽直接入營** で大部分は京城龍山の居住者である、內地から來た新兵は龍山驛に着くと直所屬中隊長に引率されて兵營に向つたが是と相前後して市內からの入營者が親兄弟、親戚、友人などに送られて繰込んで來る『祝何々君入營』と大書した **▽旗差物を** 朔寒の風に飜して廣い營庭には始めて入營氣分が漂ふた、九時一同は各班に振り分けられ夫々各班に引渡され兵舍の中に入つて上等兵の指圖で襦袢、下から襯衣、軍服の著方まで嚙んで **▽含める樣** に親切に教へて貰ひ形だけは何うやら一脈の軍人になり濟ました、此處で著て來た紋付、袴から履物を家族が受け取り他所ながらの暇乞ひをして引揚げたのは正午前、午後からは各中隊で宣誓式を行つたが斯うして愈々軍籍に入つた新兵は二時から更に將校集會所の御眞影に **▽拜賀式に** 列した、七十八聯隊の新兵は合計八百三十七名であるが中七百九十五名は午後五時四十九分龍山着の臨時列車で到着し午前中は四十二名の直接入營者を收容したのみであるが、人數が多い丈に旗差物も多く却々賑つた、七十八聯隊では二日宣誓式を擧行する筈


◇入營の日…中隊附の將校が新兵の家族に挨拶して居るところ

◎大阪の天然痘 鮮人二名

一般豫兵庫縣に發生しつゝありし天然痘は二十七日大阪府に飛び東成郡鶴江町今福精土會社職工朝鮮人朴八文(三)同李成石(二七)の兩名に該病に罹され直ちに隔離病舍に收容されたるが一方同所には全部に亘り健康診斷を行ひたり因に大阪府にては本年に入り之れにて九名の天然痘患者を出したり（大阪）

◎米騒擾公判 審問終る

東京米騒擾事件の續行公判廿八日午後一時午前に引續き再開十一名の被告に就き事實の審問を終へ次いで拘留者の收監者審問を終り辯護人から留人の申請あつて午後五時閉廷したり

◎放火女優は無罪 元帝劇の女優

元帝劇女優月岡靜枝事太田きみ子(二七)其實弟中村武忠(二二)の兩名が共謀して下谷區西町の借家に **◇放火し** 保險金を騙取したりとの嫌疑事件は先に東京地方裁判所に於て無罪の判決を受けたるも立會檢事より控訴に及び東京控訴院に於て審理中なりしが二十八日午後一時開廷早川檢事塚崎辯護人列席の上佐竹裁判長は檢事の控訴は理由なし被告等の犯罪 **◇證據は** 十分ならざれば何れも無罪とすとの判決を言渡したるに被告姉弟は互に嬉し涙に咽び裁判官を始め廷の人々に幾度か辭儀をなしながら退廷せり

◎二人組大賊は京城に情婦を圍つてるた 京城から逮捕方を大連へ頼んだのだ

鹿兒島縣生れ山本貞一(三五)及び鹿兒島縣生れ職原淺太郎(三二)の二人組の大賊が去月初旬以來京畿各地を股に掛けて三萬餘圓の金品を竊取し同月九日大連警務署の手に逮捕されし事は卅日夕刊二面に於て報道せしが右の中山本貞一は昨年八九月の交より京城に居を構へ **▼情婦を** 圍ひ置きて竊盜を働き居たるものゝ如く先月初旬以來京城府內の天眞樓二見旅館等に於て宿泊中の知名人士の金品總計五千餘圓を竊取し更に大邱共進會開催を目當てに同地に南下し唯家旅館に於て千餘圓の金品を竊取し釜山より巧に官憲の監視線を脫れて內地に逃走し更に大連に渡航せる者の如し、一方山本の情婦某は去月十二日京城出發奉天方面に向ひたれば銃て **▽活動中** なりし本町署にては犯人が必ず大連方面に逸走せしものと見當を付け一件書類と共に犯人逮捕の依頼を大連警務署に宛て、發し見事大連警務署の手に逮捕されしものなりと云ふ因に右兩名の大賊は重に金時計衣類等高價なる物品及金錢を盜取し京城のみにても被害件數十餘件に及べりと

◎御結婚を申込む

國分李王職次官は一日午前十時梨本宮家に參上し李王世子殿下と御結婚の儀を申込みたり（東京特電）

◎改悔の投身

平安道江東郡高泉面盤石里李在玟妻洪姓女(三)なるもの去月二十五日午前六時三十分頃同郡古邑面麥田里所在大同江中に投身自殺したるが右原因を聞くに洪氏は酒癖を盜み平素手癖惡く去月廿日午後六時頃同郡元灘面鶴里林致煥揚賀道朱泰鎭及び外二名の者と共に飲酒し酩酊し林致煥の就寢中洪姓女は林致煥のポケット中より金四十圓入の財布を盜み罪の發覺を恐れ遂に投身自殺するに至りたるものならん

◇警察の窓から◇

▲宿屋料理屋飲食店營業者雇人及び家族健康診斷日割（十二月二日）▲義州通全部島崎病院▲明治町一丁目一部中島病院▲三角町水下町、壽橋町、水標町、光熙町、太平通一丁目武橋町（以上鮮人營業者側）

▲汚物掃除規則 芥塵箱以外の場所又は街上に塵芥を捨てるものは汚物掃除規則違犯として處分されるだから必ず塵芥箱は各戸に備へ附けること

▲帆船沈沒

鎭南浦府所有の帆船第二號新幸丸（十六噸）が去る廿二日午後三時頃鎭南浦蠟山里スタンダード石油倉庫より石油三百函を積載して出帆し鎭南浦沖合に差しかゝりたるに午後七時頃強風の爲め築港內に避難せんとしたるも風浪の爲め帆綱を斷たれ船體の自由を失ひ遂に沈沒したり因に損害高は船體五百五十圓積載石油三百函中船體共に沈沒した百五十函の價格千五百圓合計二千餘圓にして船夫金德極は第一新幸丸に救助せられたり。

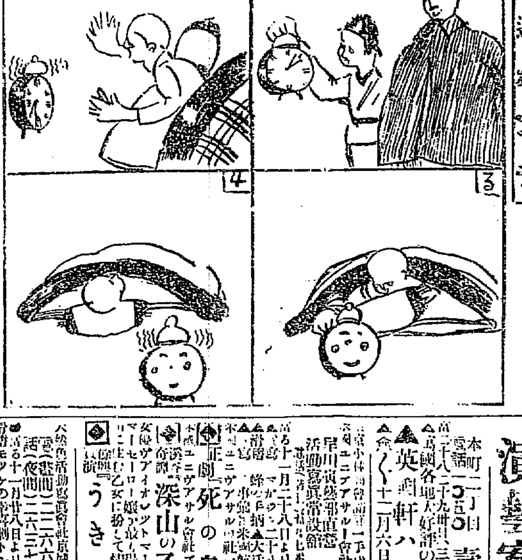
◎夜行食堂中止

京城管理局にては輸送上の都合により南大門驛發午後七時五十分並に釜山發午後十一時の京釜線兩夜行列車に連結しつゝある南大門大田間の食堂車を中止したり

京灯とし

▲いつもの如く久永水が主催日く、京城の商人は何故コンナに商賣が下手なんだらう。例へば紙屋に『紙を持つて來い』と注文すると『ハイ有難う』の返事は頗る活潑だが何時迄待つても持つて來ない再び電話で交渉すると『ハイソンナ御注文が有りましたか』との返事『ソンナ御注文が有つたかつてソンナ馬鹿な事では困る』『出來ないぞ』と怒鳴ると『ダレでも知らないから仕方がないソレでは多分店の者が聞いたのでせう』と……馬鹿々々しいコンナ事が何度も繰り返されて京城の商人の商賣の無い事を知つたので其れ以來何品でも三越に限ると云ふので果物一つでも三越に註文して居るさうだ

毎週ポンチ　茶目日記　助太郎



▲廿八日、お母さんの話しは僕が坊の時から大な寢坊だつたさうだが天性と習慣の力は恐ろしいもので只今は毎朝遲刻で行くのだが遲刻しないためには兎も角こんなに寒くなつてから毎朝に其上に世の中が憶しくて仕方がない斯ん今日僕父さんから目覺時計を買つてもらつたから明朝から時間通り起床する事が出來るだらう ▲廿九日、時計を懸ける時心掛けて居たせいか鈴が鳴くとすぐ飛起きた、お早く起きると氣分が宜いと云ふ話は聞いて居たが成程氣持のよいものだ、それに付父さんは吾輩の質問要が有つたと悦げれるしお母さんも初めてお襟で朝の食事がされたと悦ばれた ▲三十日、昨朝早く起きたせいか今朝は大變眠たかつた鈴がやかましくて仕方がないから夢我夢中で音を止めてお父さんから大目玉を頂戴した ▲一日、習慣を破る事は仲々六ケ敷いものだいつもならば日曜だから早く起きて飛歩く所だが鈴の二度止で反つて遲くなつて妹に迄笑はれたア、殘念々々

演藝案內

壽座 本町二丁目 電話一〇五〇 △英國軒ハレー一行 △十二月六日より花々敷開演

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 ▲十一月二十八日より特選提供 ……『死の鳥』全三卷 ……『深山の乙女』全五卷 ……『うき世』全二卷

黄金館 電話(夜間)二二六二七 ……舊劇『お園六三』全二卷 ……第五『大秘密』第十卷 ……大悲劇『女鹽原』全四卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 浪花節合同大會 ……

大正館 雲井町 電話八七三 ……『家庭教師』全二卷 ……活劇『護神』全三卷 ……新派悲劇『父の涙』全五卷 ……舊劇『朝顏日記』全三卷

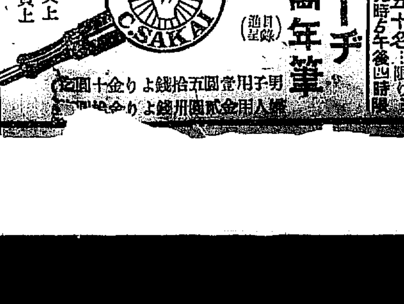
文樂座 本町五丁目 電話一三三八 十二月二日より午後六時開演 ……

著荷 防寒帽子 一同 金四圓四拾錢 一防寒帽子 金參圓八拾錢 目出帽子 自金七十錢 至金貳圓三十錢 ▲送料鮮內十二錢鮮外三十錢 右新荷到着仕候間御用命被仰付下度候 京城太平通 京城日報代理部 電話旅內十三番 振替京城三〇〇

商業登記 京城地方法院 開城支廳

東京三金の靴 ボックス革編上……三金高等靴店 東京市芝區愛宕下町 電話芝一六九〇 振替東京一七二三

シンガー書館 ……油部分品卸小賣 ……楠商店 京城鍾路二ノ二七 電話二三八番


到る處の文房具店にあり **ラーヂ萬年筆** 賜宮內省御買上 賜各宮殿下御買上 東京市日本橋區馬喰町 酒井長次郎商店 男子用壹圓五拾錢より金十四圓迄 婦人用金貳圓用錢より

濟生堂 婦人病 胃腸病 專門 入院隨意 一日五十名…… 藤井百太郎

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂

◇新露國◇

革命と破壞

哈爾賓にて　近藤生

最高執政官出現の由來と英米二國はコルチャク提督に同情と巧妙なる政治家より鐵血人物と黑海に渡つた好將軍

多大の困難を凌ぎて建設せられたる全露中央政府は鞏固なる政策を遂行せんと決心せり。斯くしてこそ始め革命の惡風雨に翻弄せられたる露國てふ大船は安全なる良港に到着し得らる政府の斯る方針が無責任なる在外黨や極端なる大露主義者と相容れざるは素より喋々を要せず主として社會主義者の中央黨左黨即ち社會革命及び同黨の與黨者たる立法會議委員（ウフマ政府）の非國家的分子が政府に對して猛烈なる攻擊を敢行せり革命時代の惰苦事と政黨首領輩の舊慣よりして彼等の行動は公々然眞の政治的爭ひに出でず陰險な權謀及び煽動的卑劣手段を用ゐたり

過激派の政權は該國民の廣き階級に亘りて精神上惡結果を印し國家の機關を破壞し去りて、破壞せる道德を遺產として殘せり、斯の如き狀況の下に左黨の陰險なる行動は特に危險にして折角緒に就きたる國家の復興事業を破壞し去り再び我國を混沌たる狀態に陷らしむるの惧あり、今や獨立せる新露國を建設せんとす而も此時たる世界の大戰爭は終はりを告げ、列國會議を開きて歐洲民族將來の運命を決すべき重大の秋なり、此際革命的危險は露國を威嚇せり故に斯る非常の場合には從つて非常手段を要す、而て此の手段を採るに至れり之れ即ち最高執政官の現出したる所以とす其の政見及び性質共に夫々異彩を放てる五人のヂレクトーリャは一時の猶豫を免さず、旣定の方針を斷然遂行するの重大時に處して餘りに多頭たり、加ふるにヂレクトーリヤは互に同欒たるが故此の間陰謀を企て易く、斯くして非國民家と野心者に乘ずべきの機會を與へ勿論一人の最高執政官を設くるも頗る難事に相違無きも國家救濟上必要の手段とす

提督コルチヤクが嚴正にして且つ頗る剛毅なるは全露國民の知悉する所なり、我同盟國就中英米二國提督に眞の同情を有し常に特別の注意を拂うて提督に臨めり、勿論吾人と雖も提督を以て紛糾せる政界に棹し、首尾克く切拔け得る政事家と認るにあらず氏は政事家たるよりも寧ろ軍人なり然れども國家至艱の場合には功妙なる政事家よりも嚴肅執政官としては意志剛健なる鐵血人物を要求す加ふるに其閣員には十一月十八日の決議に署名せる老練なる政治家ウオロゴーヂスキー氏も殘留するならん露國の軍人は普通人よりも親しく提督を知り居れり提督にしてこそ始めて最後迄聯合國に節を變ぜず又提督が過激派の賣國奴と名譽ある軍刀を渡さんよりは寧ろ黑海波濤に流したる好將軍とす

戰塵

★病る妹として　露國を援助す

ジャナン中將入に就つて曰く

最近接手せる情報に據るにジャナン將軍の西方出發は無期限に延期せられたり將軍は此際に於て其の出迎へ者と會談し其際左の如き語りを爲せり曰く『佛國は露國を目するに病める妹を以てし一日も速かに其恢復を祈りて手段と方法を盡して露國を援助せんとす又ウエルサイユに開かるべき平和會議に露國代表者の參加す可きや否やこの質問に對し將軍曰く佛國としては露國代表者の參加を絕對に必要とするものなり若し該會議開催迄に列國の承認せる中央政府成立せる場合には露國の利益代表者は在外露國使臣マクラーコフに委任するに至らん、西伯利政府は西伯利を統一すべき政治機關なるを以て其の代表者を平和會議に參加し得るならんと更に立法會議の代表者を平和會議に參加せしめ得るや否やの問に對し將軍は斯かる代表者が果して正當の資格を有するや大いに疑はしと答へたり(哈爾賓)

★最後の通牒

送りたるセミヨノフの心事

セミヨノフが襲に提督コルチヤツクに二十四時間を限れる最後の通牒を送りたる事は既報の如くなるが齊々より報によればセミヨノフが斯る行動に出でたる重なる理由は滿洲軍は反過激派運動の首腦となりて行動し過激派軍を擊破して聯合軍の西伯利出動を自由にせり故に政府の頭首には彼の認知する將軍を任命せん事を要求するの權利を有すといふに在るものの如し(哈爾賓)

★俘虜五十萬

モスコウ來信に依ればブリヤンスク方面に約四十萬の俘虜(多分獨墺)より放還せられたる露兵ならん)進みつつありドウーラ、アリヨール、ブリヤンスク道路に約十萬の露國人俘虜進行しつつあり彼等に對し適當の方法を講ずるに非ずんば國民は危險に陷るの惧れありと(哈爾賓)

◎蹂躪されたる産金地

日本軍の御蔭で秩序恢復

モコチヤ驛は産金地として有名なトンギルスキーの衝路に當る人口三千餘の小驛ではあるが奧地との關係上他地方に比して活氣のあた町である過激派横暴時代は尖張り全滅の悲境に陷り物資は全く缺乏したが日本軍の到著以來漸次蘇應に復し秩序も恢復した居住民の

日本軍に對する　信頼の念は非常に

厚い就中鐵道民官のパロスキー氏の如きは獻身的に日本軍の便宜を計り何事に對しても唯々諾々として我軍の要求を容れてゐる廣山地丈けに土地柄が非常に惡い殊に人口の六割は支那人であるから例に依つて陰險惡辣を極め強盜掠奪騷ぎは平時に於ても頻々として行はれるさうである

驚く可き多額の　砂金と農産物

トンギルスキー(通稱トングルと言ふ)はモゴーチヤを距る廿五町餘の地點にあるが附近一帶は砂金の豐產地で近々數方里の間に四十有餘の金鑛がある此等金鑛は過激派蜂起以來所有權は全然蹂躪されて掠取り御免と云ふ狀態であるから反過激派軍に追はれた獨墺俘虜や過激派や支那人などが多數乘込んで盛んに採取してゐる

採取方法は極めて　幼稚ではあるが

採掘する處恐く砂金地であるから大規模の機械力を應用したならば莫大な利益があるであらう何人の所得權を喪失した今日日本の資本家が乘込には絕好の機會であるが未だ曾て邦人の影さへ見ないので軍隊側では日本の資本家の無氣力に歯痒がつてゐる(モゴチヤールにて早川生)

◎雄基埠頭修築

久しき懸案たりし雄基埠頭の修築工事は今回遞信補助監督の下に兩の事業として起工する事に決定せるが總工費五千圓中道地方費よりの補助金千五百圓を三年度同港修築費に寄附せん爲解貸を指徵して積立てしもの一千五百圓商議會員の寄附二千圓にして再三工事入札を行ひたる結果鏡城居住木寺に落札近く起工の筈なるが修築箇所は現在の防波堤を更に六間延長せしめ防波堤内に浚渫し且つ棧橋以上の海岸を二間幅に埋立貨物の置場を擴張する筈にして全部の竣功期は來年五月頃なりと(清津)

京城日報曆

(京城時刻)

日	日出	日沒
(日)一	七、二八	五、一六
十五	七、四〇	五、一六
十八	七、四二	五、一七
廿八	七、四七	五、一七
卅一	七、四八	五、二四
(日)	此間	此間
一	九、四八	一四、一三
十五	九、三五	一四、二二
廿七	同上	同上

廿八　九、三六　一四、二四
卅一　九、三七　一四、二三

◆一日　新兵入營
◆三日　宮中御煤はらひ
▲舊十一月一日
◆八日　大雪　午前六時四十七分
◆十四日　赤穗義士討入り記念祭
◆十八日　滿月　午后四時十八分
◆廿三日　宮中御煤はらひ
▲蕪村忌
◆廿四日　冬至　午前零時四十二分
◆廿五日　宮中賢所神祭
▲クリスマス
◆廿八日　御用納め
◆卅一日　大祓

◎國境の處女林(續)

◆直營流筏著材◆

明治四十年度から大正五年度に到る迄十箇年間に於て鴨綠江流域から直營流筏の貯木場に到著したる筏の總數は百四十七萬三千七百五尺〆で一年平均の著筏は十四萬七千三百七十一尺〆で此の間大正二年度には大旱魃の爲めに九萬三千三百尺〆を流下し又同三年には大洪水の爲めに纔に八萬九千二百尺〆を出したに過ぎなかつた、而し大正四年同五年度には

◆急に增加して◆

大正四年に二十六萬七百餘尺〆同五年には二十三萬一千餘尺〆を出し、又豆滿江流域では明治四十一年より同四十三年までと、大正四五の二年即ち五箇年の作業で、九萬七千尺〆を流筏したのであつた要するに大正四五年の兩年度は鋭意營業務の改善に努力したのと前年度に水流の關係上流下し得なかつた林木を流下したのにも基因するは勿論である次に

◆細筏工場以下◆

に於て立木賣拂材又は支那材を買收した年々の數量も又少からぬものがある、即ち前記十箇年間の統計は鴨綠江流域に於て六十六萬一千尺〆餘、一箇年の平均六萬六千百十九尺〆を示し又豆滿江流域に於ても合計二萬二千七百二十二尺〆で一箇年の平均は二千二百七十二尺〆である、斯くの如くして流下して來る木材は夫々貯木場に一時貯木するのであるが

◆鴨綠江流域に◆

にありては新義州の北方約一里の地點にある中の島の北下洞と新義州製材所構內に落積し又豆滿江流域に於ては、下流の土里に著筏したものを、更に輕鐵を利用して、西水羅に運搬し同地に貯藏し來つたけれども、大正六年清會線の開通を見込んで會寧に貯木場を設く事となつて居る、此の流筏の順序は鴨綠江流域にあつては、三區に區分されてある

◆第一區惠山鎭◆

及び十三道溝附近の新乫坡鎭より帽兒山迄の間であつて、惠山鎭には、支廠があり、新乫坡鎭に派出所があり、帽兒山にも支廠がある第二區は帽兒山、高山鎭間であつて、高山鎭には出張所がある、又第三區は高山鎭より北下洞間であつて第一區より第二區までに筏を下すものは其の區間を往復し第二區、第三區も自己の受け持ち區間を上下往復するのであるが最後の

◆結氷の期前に◆

なると第一區のもの第二區のもの第三區迄を通す事となつて居る、筏夫は日本人もあり又朝鮮人も使つてあるが、追々技術の熟練と同時に日本人を減らして、朝鮮人を增加せしむる方針である相な、是は取り直さず、經費節約から來る自然の要求たらねばなるまい、現在では第一區より第二區までは主として日本人を使つてあるが、是は筏を下すに就て難所が多いからである相な

◎朝鮮製の燐寸

仁川の朝鮮燐寸工場を觀る

(二)　仁川支局　一記者

朝鮮で燐寸の製造をすると云ふは襲に仁川に出來た朝鮮燐寸株式會社が一つあるのみである仁川松林里に工場を構へ大阪、新義州に支店を有して一つは燐寸の製造販賣に從事し一つは專ら軸木の製造を爲しつゝある同社各支店の活躍と相俟つて本店たる仁川工場でも每日目覺ましい製造を續けて居る記者は一日

◆最近の狀況 を觀る

べく郊外松林里の新築會社新らしい平屋建の幾棟か並ぶ同社の黑門を這入つた門標の朝鮮燐寸株式會社は反り身になつて居るが縱覽謝絕の表示から左側の門衛詰所の扉へなどを見ると嚴として如何にも大工場を前の間に持つて居る趣きがしい工場の響きと煙突に吐く煙の色が何となく權威あるかの樣に感ぜらる、先づ取敢ずグローブ揭げた右側の事務所を這入つて事務室を訪ねると折柄冬枯の寒む空を硝子越に眺めて

◆暖爐は氣持 よく赤味

を見せ容待ち顏に椅子は散りて居る牛尾と白神專務が留守と云ふのでストーブを圍むだま、珈琲を啜り乍ら擔當前川に就て最近の製造狀況を訊ねてみる八月四日操業を開始して今日迄四箇月足らず正味は數へたら僅に滿三箇月餘りに過ぎないが其間に於ける一般職工の手腕は驚くべき發達をして今日では一日僅に八噸を製出して居る

◆從業の職工 は毎日二

百名に達して朝は六時から晚の六時半迄小箱の一個でもより多く作らんが爲め話の暇もなく營々として働いて居る工場の光景は仁川に係な會社が出來たかと縱覽者をして一種の驚異と心强さとを覺ゆさする軸木の撰分けから紙に包むで箱詰とする迄幾多の順序と手數とを要するが其八九分通りは人の手先で仕上ぐる樣子の製造は

◆職工の熟練 が製造能

力に偉大の關係がある事は勿論で會社は絕えず優良なる熟練の職工を養成する事に腐心して居るのである然るに朝鮮人は內地人と異つて物事に移り易い殊に報酬の關係で此頃の樣に勞働者拂底では直ちに割の好い仕事を他方面に求め代ゆる樣な具合で長續きがしない習慣があつて事業開始以來今日迄四箇月間續いて從事して居る職工が居ないと云ふ有樣で從つて操業上

◆熟練の域 に達した者

が居ない之等の事情で今の處一日の製造は先づ八噸位の能力に過ぎないが現在の職工にして充分なる經驗と技能とを積ませたなら現在のまゝでも一日二十噸の製造は可能であると製品は全部玉植商店と一手販賣になつて居るが其の賣行は頗る良好で殆んど製品が不足に困る位之は從來同社の製造に係る

◆溪猿黃燐 は現在の大

阪支店の販路があつて旣に相當の地盤を有して居る關係もあるが一つは品質の優良に正味充分と云ふ點よりして市場の聲價を納めて居るからである此の調子で今期に於ては前記の缺損を補塡して更に相當の收益を揚げねばならぬと從業社員は每日午前七時から午後七時迄年中無休で活動して居るとは賴母しい聽て一通りの話が濟むと燐寸製造の光景を觀るべく佐原君を促して工場參觀と出掛る(未完)

◎俄に預金引出

安東縣の支那商

[illegible]る由なるが斯る間に到り支那商人は[illegible]く多額を加へ各銀行にては多少の恐慌と警戒を加ふる處ありしも該銀行にありては或は利權回收等の如き政治的性質を帶ぶるものにはあらずやとて多少の警戒を加へ來りたるものあるを信ずべき筋より聞く處によれば安市街には本年金九十萬圓の貯蓄銀行の新設を見去る十一月一日の開業にかゝり盛んに貯金の吸收に努めつゝあり且之が同貯蓄銀行は商務商會長其他有力なる支那人の合同出資に係るものなるを以て此迄の關係上勢ひ日本銀行より利子を引上げ預金の吸收策に腐心したる結果なるべしと云ふものあり或は事實に近き觀測なるべし(安東縣)

◎平南の蠶業

◆蠶種製造業者の狀況◆

平安南道に於ては大正四年五月蠶種取締規程を發布し他人に販賣讓渡しの目的を以てする蠶種製造業者を取締居れるが同年內の蠶種製造者は春夏秋蠶を通じ十八名にしてその製造枚數一萬百九十五枚なりしが爾來本道蠶業講習所に於て養成したる卒業生に對し桑園及び蠶室、蠶具等の設備完備し且つ養蠶技術の優れるもののみ選び蠶種製造者たることを許可し以て優良蠶種の製造を獎勵しつゝありしが本年に於ける一般成績を見るに左の如き數を示すに至れり

蠶別	製造業者	掃立蛾量
春蠶	二十六名	一九八匁五
夏蠶	二十五名	八七匁
秋蠶	二十〃	一三二匁八
合計	七十一	四一八匁七

收繭(石)	賣繭用	製造枚數(枚)
六〇七七	三五、四六一	一三、三四二
二四、二九一	一六、五八五	六、七六八
四二、一四九	二七、三四	九、三四五
四二、一四九	二七、一三四	九、三四五
三七、二一七	七九、八〇〇	二九、四五五

◎安奉沿線煙草作

滿鐵安東地方事務所附屬鳳凰城農事試驗場に於て始めて本年在來種外國種、支那種の煙草栽培を試みたる結果其成績頗る優秀なりし事は屢々報道したる通りなるが同所に於ては大正八年度に於ても其の作付反別を增加し愈續き耕作上の試驗をなし愈其の成績良好と認むるに於ては地方の日支人に勸誘して耕作反別の增加を圖る方針の下に地方事務所は相當の豫算を計上して本社へ具申中なるが此の噂を聞き込みたる在鮮日本人間には早くも其の有利なるに著手し耕地の貸下げを願ひ出づるもの漸く多く此規模も稍大なるものある由なるが今直ちに耕地貸下げ又は煙草耕作上に當局の援助を與ふるや否やは疑問なるも近い將來に於て安奉沿線は頗る有望なる煙草栽培地となるべき見込みなりと

◎石炭輸送難

滿鐵安東驛販賣課安東出張所小田主任の談によれば安東驛附近及び朝鮮に輸入せらるゝ石炭の[illegible]によれば一日六十八車平均なりしも最近特別輸送其他の關係にて輸送力は減殺せられたる結果一日の輸送は三十八車に制限せられたるを以て其の配分上非常に困難を感じつゝあるもそれが爲め當用者に迷惑を來たさしむるが如きはなき見込みなりと(安東縣)

◎安東縣と會議所

安東縣商業會議所の組織變更案に就いては安東領事館及び商業會議所當事者に於て目下研究中なるが其の當局者の談によれば[illegible]明年三月頃に具體的成案を作り一般會員に諮るべしと(安東縣)

◎朝鮮牛と飼料

平安南道に於ける本年乾草採取狀況は昨年に比し二百九十餘萬貫の增收を示し且つその品質に於ても多年の經驗により年々向上進歩しつゝあるは平南道畜産業の進展せるを證するに足るべし今數字に於てその成績を示せば左の如し

人員十三萬九千六百八十六人採取戶數十萬六千六百七十六戶採取地積五萬六千三百六十八町步採取量九百十一萬二千十貫を算せり

而して之を一人採取量に平均すれば六十五貫牛一頭に平均すれば九十九貫なり(平壤)

◎妓生と料理屋の紛紜納る

料理屋と云ひ出し價の步合の値上が値下に變はる

平壤名物の妓生と朝鮮側料理屋との間に紛紜が起つてからモウ一二箇月になる。其起りは料理屋で勿ねる花代の步合を今迄の二割の處を更に五步餘計に勿ね樣としたので妓生連は一同申し合せて一切料理屋へ出ないといふ事に取決めたのであつた

所が妓生側の態度は意外に强硬で一切料理屋で妓生を揚げて遊興することが出來なくなつたので自然料理屋の客足も減り殆んど營業が出來なくなつて廢業の已むなきに至つた家さへある、乃で料理屋側も今更乍ら縋いて苦しい時の神頼みとあつて警察署の方へ泣付いて見たが妓生側の鼻息は益荒くソンならアベコベに步合の値上を取消して一步五厘に引下げたら行つて遣らうといふ劍幕で其の筋の人を梃からず手古摺らせたが元來女の方が要合によると一枚權力の强い朝鮮の事であるから結局どうあつても讓歩が出來ぬとあり云ひ出損で、今度は妓生の主張通り反對に値下げを決行する事となり料理屋側は泣面に蜂で辛くも營業を繼續してゐることは兎に角めでたし〳〵(平壤)

◀冰結▶

咸南長津、甲水兩郡內に於ける各河川は既に本月上旬より結氷して渡航不可能となりたるが向ふ十數日間を經過せば氷上渡渉し得べし

◎保險の常識

例の感冒の爲に

抱への藝妓に保險を付ける

今度の感冒は京城其他の都會地では疾うにモウ忘れられて了つたが田舍はまだ中々盛んであるこの惡であるソレにつけて各方面へ種々の影響もあつたが何しろ死亡者の多かつた事に對して是に目を付たのは生命保險會社である現に當府州へ入込んで盛んに勸誘してゐるのは明治東洋日清簡易等の各生命保險會社勸誘員で之は豫想外に成功したらしく鮮人側でも次第に加入者があるしソレから淸州では藝妓若葉が感冒の爲に死んだので各料理店では抱への藝妓に保險を附けるといふ樣な傾向を生じたので保險屋さんは大當りである(淸州)

咸興

▲奬勵會　長津郡農事奬勵會員は目下四千五百五十名の多數に達し顧問として長津憲兵分隊長及び長津金融組合理事の兩氏を推薦し他に會長一副會長一理事一書記一名就職し支會長は各面長之に當る事となり去る四日第一回會議を開き諸般の打合せを爲したり▲金融理事會同　咸鏡南道管內十七金融組合理事會同は去る二十六日より三十日迄道廳會議室に於て開催せられたり▲小作品評會　安邊郡に於ては去る八日より十一日迄三日間郡內小作物品評會を開催したるが出品點數二百八十八點中五十八名の受賞者ありたり▲退潮視察　李咸鏡南道長官は去る二十二日西湖津より發動機船に依りて退潮に向ひ親しく狀況視察せり

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

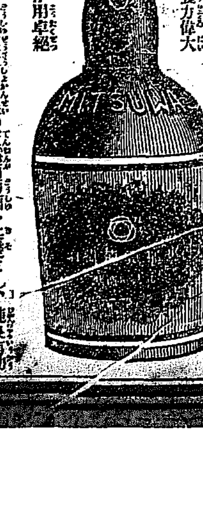
病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ
治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

◎ミツワ規那鐵葡萄酒（みつわ・きなてつぶどうしゆ）

定價　壹瓶　金壹圓七拾錢　內地以外は郵稅運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絕



本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製したるものなるが故に容易に變敗する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、消化不良、慢性の胃腸病並に下痢、貧血、萎黃病、鐵血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、產前產後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉痩せ活潑ならぬ人
一、所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、[illegible]
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹て居る人
一、肺結核や腸結核、肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で弱り衰へて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱まされて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ氣病に惱まされて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き
身體の强壯を圖り尙新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒（みつわ・にんじんぶどうしゆ）

定價　壹瓶　金壹圓八拾錢　內地以外は郵稅運賃を加ふ

風味高潔滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして爽爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、營養の佳良並に身體の强壯を希ひ、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、不快な感冒や苦痛を忘れたい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の瘦削けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏色蒼褪め艶の無い人
一、手足や腰腹が冷ねて眠つかれぬ人
一、些細の事に氣に懸る人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神鬱々とする人
一、時々氣を失ふ人
一、陰萎遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人

毛谷村六助 卅六番角力

七十七席

桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

中西友之進は兄の内藏太に對ひ 友『お兄上、貴下は全體何うなさる思召でございまするか 内『何が何うしたと 友『何時までも貴下は此小細川家に御奉公なさる思召ですか 内『それはいたし方がないではないか、只今では五百石を頂戴いたして番頭役を勤めて居る此方だ 友『其の番頭たるべき者が高の知れたる足輕風情に衆の中へ投げ込まれて、殊へ百日の閉門を申付けられて口惜しうはございませんか 内『それは其方が云ふまでもない 友『然うでございませう、拙者さへ殘念でございます、兄上が斯の様な恥辱を蒙られた其の後は、家中を大手を振つて歩くことも出來ず、是が泰平の世とは違ひまして亂世のことでございます、依つて何も細川家ばかりが日が照ると云ふ譯でもありますまい、寧そ御浪人をなさい何處へ參らうとも、一廉戰場へ出でまして敵の首級を擧げましたら五百石や千石の知行は苦もなく取れます、依つて行きがけの駄賃に彼の澤村才八奴、才八は未だ部屋住の小伜でございますから、彼の下に使はれなくてはなりません、如何にも殘念で堪りませんから、家中の面々を語らひ、機會を見合せて彼奴を撃て立退かうではございませんか』と血氣の勇に逸りまして兄の内藏太に勸めましたから、遂に内藏太もその氣になりまして、先づ家中にて日頃眤懇にいたしまする、石川秀八、中村良助、樋口勇之進、三上俊次、野村長十郎、野田與八、杜田三十郎、並木小次郎、佐々木喜八等の若侍を集めて酒宴の上昨年の恥辱を受けし次第を物語り、『何卒我々兄弟に力を添へて彼の才八をお討取り下さる様』と只管頼み込みました、何がさて若侍共は前後の思慮もなく 秀『成る程、中西氏の仰せは御尤もである、これは大いに遣るべしだ、高の知れたる成上り者、先年近習役に取立られ節、御前に於て拙者は彼と立合ひ遂に不覺を取つた、然し侮れませんぞ、彼奴は優れたる腕前且拔群の力量もある、依つて何處へか彼が出たる時を見計らつて、此の同勢にて欺し討にいたすが宜しからう、我々は揃つてお助太刀をいたさう』と申し入れましたから、内藏太は大いに喜びまして、猶も種々と打合せをいたして其の日は一同に充分の馳走をいたしまして一同は歸宅いたしましたが、その後は好き機會もがなと考へて居りました、處が今度彼は京都へお使の役を申し附けられました、依てその歸途、城下外れの松並木に於て首尾能く討取らうと云ふので、若侍共は諜し合せて澤村才八の歸りを待受けました、此方は才八は京都へ一泊いたし、遲刻をいたしてはならぬ、一刻も早く御歸館にお渡し申さんと、恰度今宵の晦月は雲の間より昇つて居りますから、暮るゝも厭はず、足に任せてドン／＼と道を急ぎまして、今や田邊の城下へ入らんとして松並木へかゝつて參りますると、思ひがけなく傍の森の内より銃音諸共くズドンと一發、才八の肩先を掠つて彈丸は彼方へ飛び去りました、不意のことでございますからハッと驚きましたる才八は、バッタリ其處へ仆れてしまひました、偖は我を撃たんとする曲者あるかと、仆れながら熟と様子を窺つて居りますと、松並木の傍の森の内より覆面頭巾の曲者が大勢、ガヤ／＼云ひながら現はれ出でました △『何うだ手答へはあつたか』○『何アに心配は無い、狙ひ違はず只一發の下に射てしまつた、止めを刺しなさい』○『合點だ』と一人は槍を携へバラ／＼と進み寄る樣子、偖は曲者は多勢なるかと少しも油斷なく、其身は大切な御用箱を所持いたして居りますから、確り是を懷中いたしまして瞳を定めて猶も窺つて居りますと、手槍を提げてバラ／＼と駈け來りまして、仆れて居る才八目懸けて一槍ツーッと突き出しました、

滿洲運輸狀態

滿鐵線運輸情態は幾分恢復したるも奉天驛に於ける今日の實情より推せば未だ何等好成績を奏したりとも見えず長春驛に滯送すべき滯貨二百十一車奉天以北各驛に託送を受け居るもの八十九車哈爾賓運絡中の列車三十一車合計三百二十一車の停車あり又南行貨物として大連其他各驛を通して百五十七車の滯貨あり此託送貨物の運搬に就き當局は極力盡瘁し出來得る限り迅速を旨とし相當の運搬を繼續しつゝあるも幾分遲延を伴ひ漸次請求あれば到底底捌きを見る事不可能なり東清線の如き順調に向ひたりとの噂あるも一日僅に十二車の配給なれば南方より長春へ押掛くる貨物を停滯なく輸送する能はず前も十二車の配給も時折不足なる事ありと云へば其能力の如何は想像するに難からず日々荷物の種類が南行は多く大豆大麻等の纒まりたるもののみなるを以て整理し易きも北送貨物としては貨車拔ひの分ら大宗として果物なるが此等荷造りは殆んど支那人荷主なるを以て其統一極まりなく檢斤に要する手數のみにしても甚だ少なからず此等雜貨食料品皮革等に至つては取扱ひ更に面倒にして驛員は毎日貨車配給其各事務に忙殺されつゝあるの有様なり何れ將來と雖も冬季間は石炭の輸送に其の能力の大部分を削減され殊に本年は東滿方面に石炭の車の不足と共に輸送能力も亦充分なりと云ひ難く到底完全なる域に達する事は望み得ざるべし

暦

十二月三日(火)

舊十一月朔日 ▲甲申 ▲三碧 ▲暗劍東 ▲おさむ ▲氐宿 中衛爆執 ▲十方暮

▲三碧▼ 早合點すべからず新事は勞多し 縱令へ 日なり 人には何事も 上げて入る ▲四緑 ▼ 此日は努めて謹みを深くすべき日なり ▲七赤▼ いらいらする樣な日なり 短氣に注意せられよ ▲八白▲ 何事も面白からぬ事の惡き日なり ▲九紫▼ 心に叉となき程の吉き日なり機會に捉ふるに最も佳なり金錢は固より起業移轉求職婚姻の他何事も一切吉 ▲一白▼ 樂しきはなり起業移轉求職 ▲二黑▼ 婚姻名びろめ其他一切によろし ▲面白くなき日ならん但し旅行はみてよろし

◎日本一 マルカン印 最上清酢

ほまれ味噌

上 龍 醤油 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

安全おしめカバー 大好評のゴム布製 二歳迄 乙七十錢 四五歳迄 内九十錢 大人迄各種 金壹圓 送料各卅錢
いか程多量の大小便でも洩れ又はしみ出ることなく衣服ふとん其他常に清潔で氣持よくすべてに手がはぶけるそして御子様の爲にも衛生上これほどよいか知れません 但世にありふれの小便袋にあらず 東京本郷春木町二丁目卅四 ◎製造元 田中商店 電話下四〇七 振替東京三八〇一三

吸入瓦斯 エンヂン 十馬力 附屬品付賣却 下關市本町四丁目 高橋鐵工所

◎會員募集◎ 珍書 珍本 江戸時代人情本洒落本組 禁止の物 繪入 會員にて配本 目錄 内容見本 規定 ハガキ申込次第 東京神田表猿樂町廿一 トモエ文庫

りん病 急性慢性を問はず 博士發見の新薬を配合せる淋滅を御用あれば全治迅速なり 一圓四十錢 二圓七十錢 郵送料不要

ルーデサック 特製品 A 十個五十錢 廿個九十錢 B 十個七十錢 廿個一圓三十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 一月帶一個七十錢 郵券二錢代用一割増 廿個以上送料不要 京城黄金町三振替京城三七二二 山田文殊堂藥房

花柳病 外科 專門 606 梅毒・淋病・泌尿生殖器病 睾丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

李王職御用 模範 牛乳 ニウソ 石鹸洗粉 場主 獸醫 太正塚北 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場

美本 進呈

月やく不順・こしけ・女の病が治る

…出來た不思議にヨクキク女のクスリ……月やく不順こしけ女の病はサッパリ治る

サア皆さん、茲に女の方の非常のお悦び事があります、從來、月やくが不順だとか、こしけが下りるとか、頭痛眩暈がする、月經時にお腹が痛む、お腹にシコリが出來た、足腰が氷の様に冷ゆるなど、それは／＼色々の辛い悲しい容態のある子宮病血の道ヒステリー等の方は、大抵昔から在來の振出しか煎じ薬にばかり頼つて居た様じでありますが、振出しや煎藥はモー浴びる程飲んだが効がないとこつて失望して居る方も多うございます、然るに醫藥の進歩に連れ醫藥學の進歩は實に目覺しく後から後から良薬が出來て參りましたが、茲に女のクスリも『ピホー』と云ふキキメの確かな最良薬が出來ましたから、既う昔からの鈍たキキメのわるい藥などに頼つて給はず、此の新しい効のよい最良薬で辛い悲しい女の病をサッパリと治療しておしまひなさいませ。何しろピホーは現今の進んだ醫學上から藥效確實とされた最良藥の苦心調劑ですからキキメの良いことは嘘實驚くばかりで、既に多く實藥して効のない方でも此のピホーを飲むで……生れ變つた様に丈夫になつたと喜んで居る方々は澤山ある位です、サア一刻も早くピホーの新しい效効によりて、悲しい病をサッパリと忘れておしまひなさいませ、ピホーは全國到る處の藥店にあります、藥價は試用五十錢一週間分金一圓其他色々あり、直接本舗へハガキで申込めば藥代は飲んだ後で頂くと云ふして先づ以て三日分四十五錢の試し用藥を御送附すると云ふ他で一寸眞似のない便法を斷行して居ります、お藥を申込むと否とに拘らず本舗には『婦人寶』と云ふ一讀千金の美本を無代進呈す 御遠慮なく申込あれ見逃しては大損！……。

東京九段坂下 本舗 橋本健藏藥房
電話番町一六八一番
京城南大門通り二丁目 代理店 新井大藥房 其他全道各藥店に有

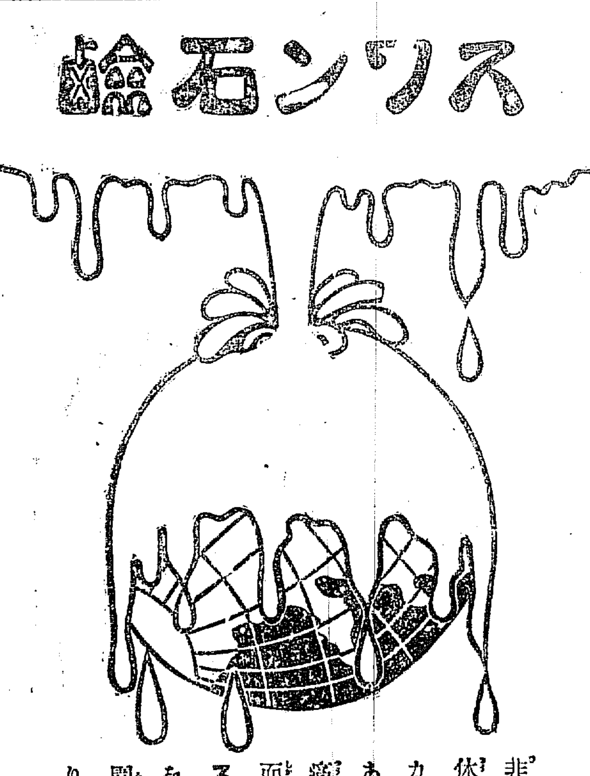
ぜんそく湯 壹週分一圓廿錢 價二週分二圓卅錢 送料六錢 海外卅錢
如何に慢性で重症の喘息でも効驗は確實です昨年御服用者はお陰で今年は再發ぬと喜んで居られます喘息に本藥以上の妙藥はありません責任ある當園の保證藥お試し下さい
東京小石川區下富坂町二十 無量壽藥園 電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二一

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富.

笹山章著 鮮語自在 新案獨學 イロハ辭典付
ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料二錢 代金引換 小包七十錢
發行所 ハツーボヤ書店
著者は鮮語獨學に見を慢き從來の所謂獨學書類と其撰を異にし既に一新機軸を出し特に新案の文字を冠せり 上欄にはイロハ辭典及朝鮮地名集を付す 本文には諺文の組立、文法、綴字テニヲハ、語格、會話、日用單語、略語、對話、作文等鮮語に關する一切を網羅せり
誰れにもすぐに間に合ふ 必ず上手になる理想的新案獨學書なり
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部 (振替京城三〇〇番)

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行 振替貯金口座京城三三三番 電話六〇一〇番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、遼陽、南滿洲、哈爾賓、長春、開原、四平街、鐵嶺、大連、青島、傅家甸、營口、龍井村、公主嶺、齊々哈爾、吉林、上海、天津、濟南
出張所 …
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

長足の進歩を見よ!!
七大醫學博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインは
一番良い葡萄酒との高評で其賣行は長足の進歩を示せり
朝夕の一杯は百藥に優る

スワン石鹸

非人道の敵國殲滅!!!
休戰條約調印!!!
カイゼル遁亡!!!
あゝいずれも溜飮の下る痛快な好音信!
而して＝諸君日常愛用のスワン石鹸は遂に全世界を文明的に而も確實に包圍占領し盡しぬ是れはより以上壯快な事實!
製造元 日本リーバー・ブラザース株式會社

專賣特許 亀の子束子
最早ニセモノ束子をお用ひなさるやうな方は居つしやいますまい
包裝束子をお使ひ下さいましたか? 從來の鶴の子束子よりは中身もグツト品のよくなつた事にお氣づき下さいましたでしやう?
▼年末年始の御贈答品には最も御格好です▲
本舗 西尾商店

汽車發着 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

京城日報　第五版

◆…羽二重は休戰條約締結數ケ月…結果海表市場始め產地各市場共氣勢…產地仲買の値惚買を爲したるもの…荷捌け困難より持荷增大せる結…に依り▲無慮一圓內外の大暴落を演ぜ…の暴落に依り一時こは僅に一圓五

本紙定價　發行所 京城太平通一丁目 合名會社京城日報社　發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

京城日報 漢銀の內地發展

一

漢城銀行は鮮人の創立經營する頭取中、最も有力なるものにかゝり、殊に其重なる株主は、朝鮮貴族中の有力者にして、其の組織は恰も東京の十五銀行に似たるものあり、從つて社會の信用頗る重く、從來鮮人間の金融機關として十分の作用を果したるが、今回其支店を東京に設置するの計畫を立て、着々準備を進めありたるが、いよいよ本日より業務を開始することゝ爲れり。是れ鮮人經營銀行の內地に發展せる嚆矢にして、時勢の要求に基づくものとはいへ、經營者の勇敢なる態度亦賞讚に値す。

二

漢城銀行の資本拂込額は百五十萬圓、積立金九萬圓餘、政府貸下金四萬圓にして、最近の調査に依れば預金五百八十三萬圓餘、貸出七百十二萬六千圓餘、其の營業成績は普通銀行中の上位を占め、之を大正六年末の預金三百十三萬圓餘、貸出三百二十四萬圓に比するときは、長足の進歩といふべし。是れ從來朝鮮區域內に於ける活躍の結果なるが、今回東京に支店を設くるに至りたるは、李王職及び在京鮮人の預金を吸收するの目的もあるべしと雖も、要するに近來內地朝鮮間の經濟的關係次第に密接を加へ、爲替取引に關する機關の增設を要求するの時運に乘じたるものならずばあらず。其上朝鮮地方に於ける金利は、之を內地に比するに格段の高位に在るが故に、內地の遊金を朝鮮に運用するときは、其處にも亦多くの利益あるの目途も立ちたるべし。

三

吾人は朝鮮の同化といふことに就て、多大の注意を爲し居るものなるが、此事たる議論又は理屈に因りて遂行せらるべきものにあらず。一方は國家組織に關する道德觀念より、又他の一方は共同生存に關する經濟的組織より之れが進むるを必要とす。今其一は暫く措き、其二に就ては朝鮮に於ける內地人の各種の事業、朝鮮より內地に供給する穀類及び各種工業者料等に就き、最近いよいよ密接の關係を生じ、各種の取引は頗る頻繁を極むるの狀況あるに至りたるは、洵に喜ぶべきの現象にして、將來ますます之れを進展するの方策を要す。此點より見るも、漢銀の東京支店設置は、吾人の志望と相一致するものにして、國家のために其の成功を祈らざるを得ず。

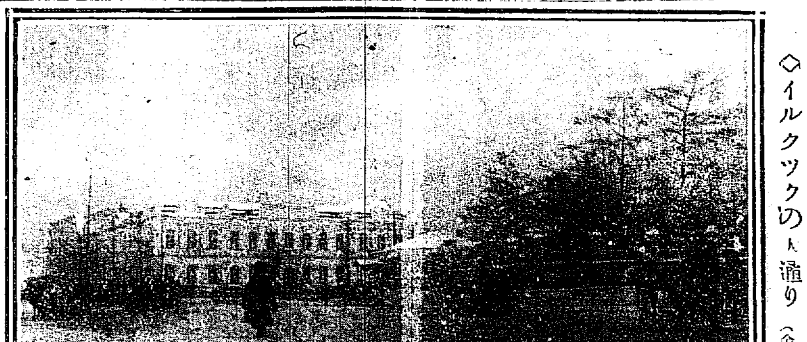
四

兎に角も漢銀の內地發展は、從來の記錄を破りたる大膽なる試みにして、首尾好く成功せば、將來鮮人の經濟關係に好影響を與ふる勿論なるが、之に反して萬一不成功に終らんか、獨り漢銀其ものゝためにのみならず、鮮人事業の前途に對し、又朝鮮の同化に關し極めて面白からざる波紋を起すべきなり。吾人は當事者の奮勉努力を促すと共に、一般人士に向つて、此の大膽なる試みに向つて同情を寄せ、相當の成績を擧げしむるを祈求するものなり。

臺灣視察談(四)

芳賀博士講演

臺灣總督府の專賣事業中第一に收入の多いのは樟腦で、是れに次ぐものは阿片と煙草である、臺灣人の煙(阿片)を好むことは非常なものである、總督府では漸次其喫用を減少させて遂には全く禁止しようと云ふ方針である。夫故に先づ第一着手として是を專賣事業として取締を容易にした上、指定商人に賣らせ、購買者の資格として醫師の診斷書を要し、而も一回に三日分以上の分量を賣らさぬと云ふ風にして居る。從つて統計に於ても取締の效果が現はれて喫用者の數なり販賣の分量は以前に比較して見ると非常に少くなつて居ることが判明する。賣の產額も隨分多い、藥の種類も色々である。又華人の作つて居るものは馬尼拉で品質が頗る良好だとか聞いた。前にも云つた通り私の旅行は誠に忙しい旅で而も其短い期間中一二度は學會へ出席したこともあつたりなどして正味視察に費した時間と云へば極僅かなものであるが、是から臺灣の都市就中臺北に就て感じた儘を述べよう。凡そ土地の開化發達は海港に始まつて平野に發展する、臺北然り臺南然り何れも平野に發興した都市である、臺北は淡水河を西に控へ四方何方を見ても七八里行かなければ山は無い。尤も他の諸都市は別として臺北だけは自然に優勢から發達したと云ふよりは寧ろ作られたものと云ふべきで、臺灣總督府の所在地即ち政治の都市として生れ、現に政治の都市として立ち、將來も矢張りこの色彩を保つたなり繁榮しようとして居る。市街の建物が一體に三階の煉瓦造で朝鮮など何處にも彼程立派な處所はない、加之下水道上水道の完備して居る點に至つては歐米の都會にも劣らぬと思はれる位置に堂々たるものである。◇斯く都市としての完全なる設備を有するに至つたのは、其出發點を、此臺北をして衞生地たらしめようと云ふことに置いて居る。日淸戰役以來度々瘴癘、殊にマラリヤに依る慘害の經驗の爲め、此惡疫の土地へ來る者は始終不安に驅られた、當局者も何うかして早く相當の設備を施さなければ自分の生命が危ないと云ふ譯で全力を此方面に注いだ結果であつて謂はば臺北はマラリヤのお蔭で立派になつたものである。今日では臺北市中にマラリヤは全く跡を絶つて仕舞つた、學校の生徒に敎へるにもアノフエレスと云ふ蚊の標本などを以てマラリヤを說明して居る樣な次第である。夫から昔の城壁を崩して其煉瓦は下水工事に使はれ、舊い跡の土地は全部公園として內外を聯續して居る。抑も外部と云ふ方面から見る時に於ては文明都市の文明都市たる所以は實に其都市を擧げて一種の公園たらしむることであると云ふも不當ではあるまいと思ふ、又單に市街の美觀と云ふ目的のみならず、人民の共同生活、市街の衞生の爲めにも是無くてはならぬものであつて、文明都市としての施設中公園の設備は上下水道と共に其倍に急を要するものであるから、臺北に此設備のあるのは誠に結構なことであると思つた。



◇イルクツクの大通り（金谷從軍記者撮影）

イルクツク街(四)

從軍記者 金谷貢

貝加爾湖に近きイルクツク市は歐米と西部西伯利との中央に位して居る、從つてこれを商業上より見るも東亞の物資が此所で落合ふといふことになる、今後研究の一つ

▲日本商品と獨逸製商品とが激

した、湖畔の天險半月湖上に臨んだ懸崖の難路は(ムイソワヤ驛、バイカル驛間)二十年前起工して十四年前に營業を開始した、此の間は實に極東の鎖鑰である、イルクツクの街を通ると時に蒙古のお客に逢ふ事がある、市に來た蒙古人はハイカラなアリヤードもあればまた裸馬を牽つれてイルクツクを牧場のつもりで逍遙して居るのもある、古來此の街は蒙古との貿易に繁昌した事はこれを以ても知ることが能きる、それにまた此頃の冬期になると貝加爾湖の北のボダイボ金山から

▲夥しい塊が持ち出される、山までは隣路を橇で往つて片道十一日間もかゝるが礦夫には朝鮮人か七八千人、支那人が六七千人、それに露人も尠くない、今年は食糧缺乏の爲め礦山は休業してゐると云ふ、元來はイルクツク市で金塊を賣ふ商店が十軒からあつて昨今の相場は九十七パアセント位の上等品で、一ゾロトニツク(わが一匁三厘五毛)三十一留乃至三十二留を唱へてゐる、但し露國に於ては金は輸出禁制であるから滿洲里の驛あたりで取押へられるがそれでも狡猾な支那人などは巧に稅關の眼をくぐるといふことである、因にボダイボ金鑛イルクツク間の鐵道は豫てイルクツクの人々から運動して既に數回の踏査測量を了つたものであるといふ、次ぎにイルクツクに來て感ずることは市街の交通に不便なことである

▲市中は頃日馬車や橇で往來してゐるが全市可なりに廣い地域に跨つてゐるから市街電車の敷設は極めて大切なことであらう、元來西伯利の電車は獨り浦鹽に於て見るばかりで他の都邑には一つも無い、併しこの點は露人も氣付いて居たと見えてオムスク、トムスク及び此イルクツク市には此計畫があつたと聞いた、イルクツクには現在市營會社が一つある、これを擴張してアンガラ河の急流を利用すれば什麼ものであらうか…と考へる、イルクツク市では頃日往々商店や旅館、風呂屋などの賣物が出て居る、中にも一軒の風呂屋の如きは是非日本人に賣却したいと希望してゐる、此種のものは是非邦人が買取つて見ては什麼ものであらうか、將來西伯利に於て

▲發展せんとする日本人は是非共此イルクツクを看却してはならぬ、更にまたイ市現下の物價を調べて見ると、ざつと次の通りである、先づ日本人として最も不自由なのは醬油と味噌であつて醬油は以前ビール瓶一本が六留であつたが今は幾ら出しても買ふことが能きぬ、露人としては麥粉が一番不自由で相場は一等粉一布度(我四貫三百六十匁)百留、二等八十五留、三等六十五留位、但しこの品だけは西部西伯利オムスク地方が本場であるから日本からは如何かと思はれる、次に砂糖は百匁十二三留(二圓六十錢)要は…

…のゴールデンヘルメット五十個入一箱六十五留(十一圓)石油は…斷じて無い、其蠟燭一フント(我百九匁)…留(一圓八十錢)肉、拔き一フント(我九匁)三留五十哥、…十二留、其類一斤五留である、また羅紗は一アルシン(わが二尺三寸)五六十留、木綿反物(六アルシン)七十ルーブル、ネル類一反(三百二十ルーブル)次いで安値はイ市で稱すものもあつて…なれば相當にある、相場は…ルーブル(二圓)靴は一足百ルーブル至百五十ルーブルである

▲又銀行は目下總て休業…組の…形の割引も一切これを扱はぬ、市中の店舖は先月頃から次第に賑しくなつて從來過激派時代には一切影をひそめて居た金工品、石類も盛んに陳列せられた、思ふにこれまでは掠奪を虞れて一切穴藏にでも埋めて居たものらしい(終)

史と傳說(九)

宮中の肅正　小說家

肅宗王は此小說が金萬澤の諷刺說とは知らず、其全卷を讀了すると、乃ち翻然として悟る處あり、再び眼目して精細に前後の事情を吟味すると、恰も宮中の內情と一致する處があるので、尙ほ三考四思、閔妃從來の經歷と賢能なる才德に對照すると同時に、張嬪の天性邪惡なることを顧慮し、在野の肅宗であるから慣然として其宿敵の宮房に行つて見ると其嬪の室に當り怪しむべき點がある、扉が閉ざされて居るので、何うも怪訝に堪へぬ、其處でソッと其門扉を披いて見ると其裡に安置したものは閔妃の肖像であつて、見れば滿々しくも矢を以て全身を射なき迄に突き破つてあつた、之を見た肅宗は忽ち激怒し直ちに巡邏するや、張嬪には死を命じ閔妃を西小門外の幽居より迎へ出して宮中に入れ舊位を與へた、此の急轉直下の形勢には官女も驚愕したが、張嬪は最早脫れぬ處と覺悟するや、死に際し一目所生の一子即ち王世子と訣別せんことを乞ふたのを肅宗も之を許した、對面になるや未練の悲しみかと思ひの外に暴し、世子を引き寄せるや『此の無用の種子を留めて何の役があるか』と呼ぶと共に王世子の陽物を引き拔いたので世子は絶息し倒れた、肅宗は烈火の如くに怒つて直ちに有司に命じて極刑を施し、誅戮した、引き續き其一連、閔暗、閔宗道、睦來善等の一黨一味を誅した、其處で一派は一掃然とし一網打盡、一世復治世の威儀を見る事となつた。何處でも筆の力は強い、其實例も多くあるが、蓋し一篇の小說で斯る結果を得たのは西餘り比例が多くはなからう、金北軒金萬澤はたしかに筆の偉人であつたと云はねばならぬ(此項完)

謹告

辱知諸彥

小生儀今般都合ニ依リ大正七年十一月二十五日限リ合名會社吉木商店ヲ退社仕リ獨立事業ニ從事可致候ニ付從來辱知ノ諸賢不變ノ御引立ノ程伏而願上候

就而ハ一々參趨御禮可申述筈之處不取敢紙上ヲ以テ

敬具

京城壽町拾七番地　吉積文平

新日本

十二月號

口繪 聖母……ルオボル　鶺鴒……望月桂

評論 ○中流階級の危機(政評)……　○沙上の發展(經濟評論)……羽島博士　○日本財政問題の種相(社會評論)……山口孤劍　○婦人の視界と界(婦人評論)……山川菊榮　○本年の文壇回顧(文藝評論)……生田敬郎

戰爭と平和の悲慘……山川均
▼通貨收縮論の恐嚇を破る……清水博士
▼「力の福音」の破產……茅原華山
▼講和會議と日本の主張點……牧野教授
▼血の革命か名譽の革命か……新渡戶博士
▼物價騰貴と節食主義の目的……山脇博士
(小說)銀の匙(作者未曾有の大傑作)(大長篇)……善太郎
(小說)呪ふ心(本年文壇の一異彩)(最大)……上田良一
▼政友會の功罪の歷史觀察……高木秀雄
▼抱月を失へる松井須磨子……青柳有美
▼平和評會の開けるまで……逸名氏
▼講和會議に列席する人々……田中鼎一
▼或る遊俗僧の告白(情話)……小泉花水
ギーナの屍を抱いて(革命情話)……林
平和戰の作……ポールデン 二宮

定價四十錢 郵稅二錢　東京市外下落合五七五　新日本社

米國製十二磅附屬品付新品入荷 拾哩　中古品 壹哩

レール

右格安至急賣却

軌條 機關車 機械類 船舶 買賣代辨業

京城永樂町二丁目 電一一四七

輸出入商 榮洋行

中外新論

敗獨の將來……小松綠
現代破壞病の心理……建部遯吾
◇講和の形式と議題……牧野義智
義勇奉公の原理及方策……三井甲之
人物評論 床次竹二郎と濱口雄幸……擔石生
正七年中の政界と人物……鐵拳禪
法曹撫斬帳……混沌魔王
東大醫科教授論……山口哲朗
資本と勞働との調和（河津博士、大倉男爵、與謝野晶子、桐原捨三、遊佐男、花井博士、安部磯雄、中島穗積、有賀長文、三好博士、大場博士、遠藤博士、大谷誠夫、關知著者諸家執筆）
◇世事、中外雜俎
◇靜御前と磯の禪師……水上一紫
文展名畫 焰の由來……松崎天民
小說 女教師……石丸梧平
小說 沈み行く日……水野仙子

十二月號　定價二十五錢 郵稅二錢　東京芝愛宕下町 中外新論社 振替東京三六五〇〇番

業堂創立明治二十八年

各時計 蓄音器 卸商

貴金屬製作卸所

京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電一〇一五・振替京城七八二

時計 貴金屬 製作 販賣　本町

◎謹告

▲愈々寒氣が襲來しました
▲米代は一轉して果價調節の時となつて居ります
▲如何にして寒氣を凌ぎ又何を以て燃料を節約するかが刻下焦眉の社會問題であります
▲暖房裝置として最も經濟的衞生的にして且便利なる宮崎式ペーチカを御推薦するのは獨り個人經濟の爲めのみではありません

說明書呈

京城府漢江通八番地　宮崎組　宮崎吉太郎　電話龍山五四二番　振替口座京城五四〇二番

潛航艇物語

東健而氏著　定價一圓五十錢 送料八錢

將來の海戰は須らく潛航艇戰である。聯合艦が如何に此潛航艇に惱まされたかは既に世人の熟知せる事實で、我々は是非とも此驚異の王國たる潛航艇を知る必要がある。併し潛航艇の本は無味乾燥なものばかりだ。然るに此本は古今未曾有。實に子供にもよく解る。而も內容は小說以上に面白い。

塹壕生活

小川律氏譯　定價壹圓 送料八錢

戰爭小說の名作として世界に鳴り響いた本書は終に翻譯された。高橋陸軍少將閣下は本書に序して『一種妙諦に流泉の如く讀者をして身を戰場に置くの思ひあらしむ』云々と讚賞さる。『我行く所敵なし』と縱斜せし勇敢なる塹壕戰に於ける聯合軍の精華は實に此一卷に結晶さる。

小說 午前二時

長田秀雄氏著　定價一圓五十錢 送料八錢

劇作家として現今大に活目されてゐる著者の力作第一小說集である。而も卷頭の『午前二時』は夙に文壇稀有の代表的傑作と絕讚されてゐる。細微なる分析と鋭利な神經をもつてゐる主人公の鋭敏な感覺は內面的動搖と共に恰も血を塗るやうに深刻としてゐる。特に文藝愛好家の精讀を請ふ。

劇壇秘史 無線電話

田村成義氏著　定價一圓五十錢 送料八錢

これは明治卅四年から約五年間に亙り綿密に歌舞伎に連載して毎回世人の大喝采を博したものである。森鷗外博士は其內容を評して『えらい樂屋通もあるものだ』と言ひ、故上田敏博士は『口語體の尤も熟達したものだ』と激賞されたのを見ても如何に劇文壇に於て重んぜられてゐるかゞ分る。

切支丹屋敷

田中貢太郎氏著　情話作家として當代獨步の稱ある著者の近作集　三版出來

情話 左團次の卷

豐島屋主人著　左團次を評傳するものとして甚だ同情に富める書　再版出來

發行所　東京市芝區芝公園九號地　振替口座東京一四一七七　玄文社

◇佛軍ブタペスト占領

佛軍は匈牙利王都ブタペストを占領し非常なる歡迎を受け匈牙利共和國大統領カロリー伯は公式に佛軍入都を歡迎せり(倫敦電報)

◇土英同盟計畫

土耳其上院議長アーメッドリザは土耳其、英國間の同盟を締結し以て土耳其帝國の滅亡を防がんとし近く倫敦を訪ふ可し(コンスタンチノープル電報)

◇獨逸聯邦代表會議決議

獨逸聯邦代表者會議は分離運動に對抗の爲左の件を決議せり(倫敦電報)
(一)獨逸各種族の統一を必要とする事(二)成る可く速かに國會を召集する事(三)勞兵會をして國民議會開催迄民意を代表せしむること(四)獨逸帝政時代の閣員をして講和會議に列席せしむること

◇漢堡戰爭狀態

漢堡は今や全然戰爭狀態にあり穩和派は過激派に對抗す可く決議せり(倫敦電報)

◇幣制借款延期確定

幣制借款延期に對する支那の回答に對し倫敦銀行團より滿足なる回答來り本問題は愈々延期に確定したり(北京特電)

◇外交團和平忠告

南北妥協に就き双方共に其の內部に主戰派ありて防礙運動を畫し其の前途悲觀す可きものありとて北京外交團は近く支那に對し和平忠告を爲す可しと傳へらる(北京特電)

◇外交調査會設置か

新建議案は別に政府內に外交調査會を設置し外交問題に就き相當の諮詢機關たらしむるものなりと(北京特電)

◇海軍異動

十二月一日午前十時左の通り異動發表ありたり(東京特電)

任旅順防備隊分隊長 海軍少佐 濱田猶吉
同 粟田丁三
任鎭海要港部參謀 海軍中佐 八角三郎
任支那在勤帝國公使館附武官 同 田中豐一
任遣支艦隊參謀 海軍機關少佐 田中喜八
任臨時青島防備隊機關長兼分隊長
同 鳥居秀夫
任鎭海防備隊機關長兼分隊長
海軍中將 松村龍雄
同 山口九十郎
同 子爵 小笠原長生
待命被仰付

◇京都市長御裁可

京都市長安藤謙介氏就任の件は卅日附を以て御裁可ありたるを以て其旨大内相より通達せり(東京特電)

◇陸軍師團長會議

來る七日より九日迄三日間陸軍省にて師團長會議を開催す可し(東京電話)

◇大連銀市場紛糾問題

大連銀市場紛糾に就き都督府殖產課長黑崎眞也氏は三十日問題の中心たる正金支店長及び阿部鮮銀支店長を召喚し各意見を徵したるが都督府が此際取引所に金建値を採用するに至るかは一般に注目し居る所なるが大連に於る錢鈔業者初め銀建維持論者は商業會議所を中心として此際大連に於る銀市場の延續み確實安定ならしむる爲め關東州より銀塊及び銀硬貨の輸出禁止を都督に請願す可く運動に着手せり鮮銀の銀上海輸出は爲替業務上當然の行爲として一般に承認せられ正金支店も此の間に於ても意思疏通せるもの丶如し(大連特電)

◎休戰期間延長

聯合國側の講和準備會議開催期に關しては未だ何等決定せる處なく又列國中正式に講和全權委員の任命せられたるもの一つもなし本來より云へば休戰期間內即ち十二月十七日迄に聯合國側の準備會議を終へ更に進んで獨逸側との間に講和條約を締結す可きが當然の次第なれども講和會議開催の遲延に依りて不利益を蒙るものは聯合國側よりも寧ろ獨逸側にあること勿論にして聯合國側としては必ずしも此際一日を爭ひて講和會議を速開するの必要なく現に英國の如き總選擧等のこともあり日、米兩國委員の到着にも尙ほ日子を要するのみならず海洋自由其他の問題に關して英米諸國の間に尙自から意見の岐る丶こともあれば旁早急に會議開催の運びには至らざる可く或は十二月末若くは來春一月上旬頃ともならんか少くとも休戰期間の延長は到底免れざる處ならん尙ほ因に獨逸側よりせる休戰條件の緩和要求に對し聯合國が之を拒絕せりとのことに關しては尙ほ獨逸側にて一部實際上履行不能の點なきも一部は論外として其他の要求に對し聯合國側が之を拒否す可きは無論のことなりと信ぜらる(東京)

◎國境石炭有望

北鮮國境慶源郡內は石炭の礦脈多く之が採掘を開始するもの尠からざるが何れも規模の貧弱なる爲め中止するの止むなきに至り居りしが一昨年內地人某同郡龍德面龍和洞に總坪數約五萬坪の礦脈を發見し採掘に着手し簡單なる手堀法に依り昨年は數萬貫を採掘龍洞浙阿山地方に仕向け附近住民の需要に供したるに意外の好評を博し本年も農閑期を利用し引續き採炭せんとせしに降雨多かりし爲め坑內に雨水浸入し採炭困難となりたるを以て之れを中止したるも明年度に於ては採炭方法及び運搬機關等に改良を加へ大々的に着手す可く目下計畫中の由なれば或は相當成績を擧ぐるに至るやも知れずと

◎東拓と不動產金融
申込激增―今後の需要無限
東拓當局者の談

朝鮮の不動產金融は殖產銀行と東拓の兩者が主幹となつてゐるけれどその貸出しは殖銀約八百萬圓東拓一千三百萬圓合計▲二千萬圓を出づる事多からぬ、それに金融組合の貸出し商業銀行の貸出し並に個人の貸出しを合計して先づ大掴み乍ら五千萬圓を超えてゐないと思ふ、朝鮮の如く大部分の多くない土地で農業の開發事業の發展を期するには不動產金融の普及を第一義とせなければならぬ、乃ち水利の施設にせよ、耕地の整理にせよ、種子農具の改良にせよ、それらはすべて長期の貸出しをする不動產金融によ

海軍將官會議々員に轉補せる前鎭海要港部司令官 東鄕吉太郎中將

る所が多いのである、一面より見れば朝鮮の農事並に事業が尙ほ初步時代に留まつてゐるのは不動產金融の不振なためと云ても差支ないと考ゆる予の信ずる所によれば▲東拓成立後 既に九年を經過してゐるから此間に五千萬圓位の貸出しをして居らねばならぬ又方法だに適當であつたなら可能たであらう、然るに昨年の初め前重役の時代から現重役の時代に移る時その貸出の引繼ぎは約七百餘萬圓內外三百萬圓許りの農工債券を含んでゐたから實際の貸出しは四百萬圓內外であつた、然るにその後東拓は利率の引下、鑑定料の減免、地方出張所に於ける貸出の擴張、手續の簡易、東拓金融部利用方法の周知等に付盡力を惜まなかつた結果漸次貸附額は增大し目下の所純然たる貸附のみにて一千三百萬圓乃ち▲昨年の初頭に比し三倍強一千萬圓近くの增加を來して居る、然も近時の狀態を見るに鮮人も東拓金融部の利用方法を知るやうになつた者が段々多くなり土地の開墾、土地の利用、水利の施設その他土地改良資金の供給申込みは支店にも地方出張所にも輻輳するの狀態となつた素より米價高騰、副業收入增による農村の好景氣は東拓貸附金の回收も意外に多いけれど然も貸出は一層多く每月一百萬圓內外の增加率を示せる事は京城支店の貸出統計が語つてゐる、此狀勢で進めば年度末たる來年の三月までには約二千萬圓の貸出を示すべく今後數年の內に四千萬圓や▲五千萬圓の貸附を見る事は決して困難でない、實際內地の多く整理された耕地と朝鮮の耕地とを比較せよ、そこに朝鮮の土地が長期資金の投下により改良さるべき事を待つてゐるのを何人も見出すであらう、土地の改良は產の增加はやがて事業を生んで來る、土地を主とする不動產擔保資金の需要は今後必ず無限に起り來るべく東拓もその需要に對し十分の準備を以て臨む方針である

◎吉林金融危機

最近銀價の暴騰に伴ない吉林に於ける大洋の昂騰は近來稀なる奇象を呈し二十五日遂に大洋一元に就き官帖二十七帖八百文に至り小洋は一元に就き十三帖九百五十文にて兩貨幣の差違に九角八分五錢に達せり之れが原因は種々あるべきも各錢商等の釣上策が最大原因なる如く曾て十餘日前にも大洋は省長は警察廳に命令して干渉せしめ命令的に二十五帖に落下せしめたるより未だ何日を過ぎざるに以上の暴騰を見るに至りし爲め各商民等は再び常態に復歸せざるべきを恐れ官銀號に兌換を請ふ者踵を接し每日の兌換高二萬元以上に達する狀態にて吉林金融市場は頗る危機に瀕せりと

講和後の東洋(三)
激烈なる經濟戰
樞密顧問官 一木喜德郎氏談

戰爭に依つて我帝國は如何、我國の科學の應用は規模が誠に小さい。これは或醫學者の話であるが米國農務省に於て、米穀の研究を爲すべく其の▲本家本元ともいふ可き日本より種々と之に對する研究の材料を蒐集しようとしたるも、同等之れに對する研究は日本には無かつた、要するに日本では或は斯る特殊の深い研究はしないのであるかと訊かれて、全く赤面せざるを得なかつたといつてゐたが、實に研究心の强烈な外國人から見たならば、さもあらんことゝ思はる丶のである。此の一例を以て見ても日本人の研究心及び其の態度は充分推察さる丶、心ある人は斯る點について大いに考慮を致さねばならぬと思ふ。次は國民の精力といふ事に就て說明しなければならぬ、此の▲精力の試驗は今回の戰爭に於ては、我國は聯合國に其の關係薄かりし爲め充分判明はしなかつたが、聯合側殊に英米佛並に敵の精力の强さことは、實に四年有餘半の戰ひに於て充分證明されて居る。殊に米國參戰後の同國の精力は凄じいもので、獨逸が潛航艇の力を以てしたならば、連も米國は大兵を送ることは出來ぬだらうといふ豫想をも殺へして空想に終らしめた。又同國の造船能力は參戰以來著しく增加し、千九百十九年度には四百萬噸に上るといふ有樣である。而して英國は二百萬噸足らず、我國は▲八千萬噸になるといふ豫定である。兎角造船能力に於て世界第一であつた英國は第二位に下り、而も戰前の何十倍といふ數字を出してる點に造船率から見ても米國の精力の如何に大なるかを推察することが出來る此點に就ては我國も進步せざるに非ざるも、之等英米に比較すると遙に隔がある。(東京支局)

◎出廻薄と米價の前途

昨今の米價昂騰は寧ろ一種の變調とも目すべく環境より見るも尙ほ高き狀勢を維持せるが如し尤も本日(一日)は正米稍弱きが如きも敢て常態に復せりとは見るべからず所謂の如きは其原因種々あり又從つて樣々の觀察も聽くは免れ難き所なれども要するに地方筋の賣り惜み▲最大原因と謂ふを得べし乃ち賣惜みの理由は昨今漸く農家の懷温かにして敢て自己の持米を賣急ぐ必要に迫られ居らず先高を豫想して愈々喰繼ぐ丈の餘裕あるが爲と觀測さる而已ならず本年は內地に於る米作が稍々の障碍上一般に豫想せるが如く豐稔ならず寧ろ縮したる狀收を見るに至らば朝鮮に於ても早晚穀價昂騰すべしてふ觀念を一般に强うせり而して近年朝鮮人も概ね米食の習慣に馴れ從來の如く▲代用食物を消費すること漸次少き傾向を生じ米の需要消費は漸く增大するに至り茲に需要供給の關係益々近接し來らむこと底强く容易に其の價格の低落を告げざらしむる理由ならん加之其の昂騰に因り生產者側は概して其の生計安易なるのみならず尙相當の貯蓄あるに至りし結果賣急ぐ必要を感ぜざる上に尙ほ先般來の流行性感冒は漸く▲地方奧地に侵入し患者續出の傾向を呈し從つて地方に於ける農事は之に遮られて意の如く進捗するに至らず漸次其出廻り期を遲延せしめたるものと見るを最も妥當なる觀測と做すべきか乃ち前記の理由等に因り先高豫想に由る地方筋の賣惜み狀態が果して何時迄繼續すべきやは甚だ疑問とすべき所にして現に歲末に差し懸り地税の納期も眼前に控へ一般決濟時機に入れる今日地方に在りても資金の需要漸增すべきは明かなる所なり即ち出廻り薄の現象は永續すべきものにはあらざるべく例年に徵すれば昨今は出廻り▲最も旺盛なるの時機なることとて一度地方よりの出廻り開始さるれば一時に輻輳するの現象を呈するなきやを恐れしむ兎に角米價問題に關しては既に時代の推移に從ひ一時的現象にあらず等の今後常に逢著すべきの問題たるべく茲に於てか米穀の需要消費量を出來得る限り節減することを努めざるべからず卽ち米は單に日常の生活上食物の外に或は菓子或は酒の醸造其他の原料として相當の額の年額高を消費されつ丶あり內地に於ては年々清酒のみの原料として▲四百萬石乃至五百萬石を消費されつ丶あるを見る之等に大節減を加ふると同時に一方代用食物を奬勵して米の消費量を多分なりとも減少することこそ望ましくなるべし殊に酒の如きは必ずしも米にあらずとも他の澱粉若くは果實等より釀出し得るに非ずや(大村京城商業會議所書記長談)

◎繰綿と水氣

近時朝鮮より內地に移出する棉花は其の數量漸次增加したるを以て品質の改善を圖り其の聲價を發揚しつ丶あるが如き現今朝鮮產繰綿の內地市場に現はるるもの多くして甚だしく多量の水氣を含むものあり客年神戸に於ける大日本紡績聯合會社水氣檢查所の成績に見るに朝鮮綿にして水氣の多きは一割四分四厘少きも一割一分二厘平均一割二分七厘に達するの狀況にして之れを取引前に豫め水氣檢查を行ふ商習慣ある支那通常綿の平均含有水氣一割二分なるに比するも尙ほ多量にして米國產の六分乃至八分に比し約二倍に相當し業者の一部には朝鮮棉花も支那棉花同樣の取扱を要するの議あり當局に於ては斯くては朝鮮棉花の前途に影響する處甚大にして寒心に堪へざるものありとなし繰綿業者に對し繰綿の含有水氣を減少せしむることに注意を與ふべしとの旨關係各道に通牒を發したりと

◎開原新聞創刊

元朝鮮農商工部書記官奉天總岡永太郎氏が豫て計畫中なりし開原新報は準備漸く成り愈十二月一日より經濟の機關新聞として發行の豫定なるが右は主として經濟方面の記事を掲載すべしと(奉天)

人事消息

▲マクマレー氏(米國大使館書記官) 一行四名一日夜安東縣より入京朝鮮ホテルへ
▲本田幸介氏(水原勸業模範場長) 一日夜入京官邸へ
▲鏡保之助氏 ▲武田總七郎氏 ▲宮原忠正氏(以上模範場技師)同上 ▲八幡生甚氏(全北道技師)同上 ▲小松穆三衞門氏 ▲井上文作氏 ▲金子丈作氏(以上愛知縣農務、製莚業者)上山本へ
▲荒川衛次郎氏(長春市場株式會社取締役)同上
▲濱輪邦良氏(前川三井鑛山員)同上へ

◎鳥瞰錄◎

佛國商業會議所頭ポルモンド君の日本成金評は却々皮肉であつて又た面白い▲日本でも近頃は成金流行の世の中となつて居るらしいが佛蘭西の古い哲學者で有名なラフォンタンの諷刺は蓋し現日本の成金連を穿つに足る者があらう▲其は某所に成金と靴屋と隣合つて居た靴屋の主人は朝から晩迄陽氣な唄かなんかで仕事に勵んで居る▲其に引替へ隣の成金は何うして此金を運轉しようとか又盜賊の用心も並大抵じやないので終始頭痛でして居る▲其結果病氣になり相になつたので靴屋へ出かけて行つて『時に御主人貴方は何うして左樣に暢氣で居らる丶か秘傳があらば敎へて貰ひたい』と申込んだ▲靴屋に無論秘傳なぞある譯ではない其處で『お客樣の御註文を受けて仕事をして居れば飯もうまく夜も安眠され何の心配もないから自然陽氣になるのです』と答へた▲成金先生は『其では自分と代つて呉れまいか』といつては『御辭退』したが結局勸誘の註文靴屋は飛いて『日本元談言』云ふ約束で入替た▲すると間もなく丈夫であつた靴屋が憔悴し切つて『イヤあんなに苦勞しては迚も遣り切れませんからお元へ戾りませう』と泣込んだとある▲成金諸君は以て如何となすかね

○漁業用の出刃から

詳報せし如く被害者の夫上坂三四郎は被害當日は出漁不在中なりし爲犯人捜査上[illegible]時妻に何故鮮人が宿泊せしやと妻に訊ねたるに妻は右鮮人は黃海道[illegible]治獄に乘り時々同家に出入せるを見たりとの[illegible]なり兇行の模樣より察するに加害者の使用せし兇器はひしものにて兇行後犯人は孫め同家に金員あるを知れる爲目ほしき金品[illegible](三)と僞名宿泊し元山に向ふ者なりと店員に語りしとの事なれ共其[illegible]の者は既にし各方面捜索中犯人は釜山に向ひ內地に渡らんとせし處を更に追跡中の[illegible]刑事の爲廿八日午後九時[illegible]のありたる關係上極力捜査を行ひたるものにて犯人が京城方面に出[illegible]したることを前後の關係より推[illegible]

文藝課題及募集規定

□募集規[illegible]用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に確實に住所氏名明記の事▲[illegible]

拜啓每々御高庇を蒙り難有奉謝候 陳者今般弊社從來經營の業務中吳服毛織物及京吳服業一切を株式會社伊藤忠商店に、綿絲綿布及一般輸出入貿易業一切を伊藤忠商事株式會社に讓渡し弊社は新に增資致し一般企業に從事仕候間各社共向後倍舊の御眷顧相賜り度此段御挨拶旁御願申上候 敬具

大正七年十二月一日

大阪市東區本町二丁目二八ノ一

伊藤忠合名會社
社長 伊藤忠兵衛

今般左記會社を設立致し伊藤忠合名會社の業務を繼承仕り十二月一日より營業開始可致候間倍舊の御引立に預り度御願申上候

資本金 五百萬圓(拂込濟)
營業科目 吳服毛織物京吳服
營業所 本社 大阪市東區本町二丁目二八ノ一
支店 京都市室町通四條下ル

大正七年十二月一日

(紅)

株式會社 伊藤忠商店
取締役社長 伊藤忠三
取締役 伊藤竹之助
同 古川鐵治郎
同 辻彥三
監查役 伊藤忠兵衛
同 村岸休五郎

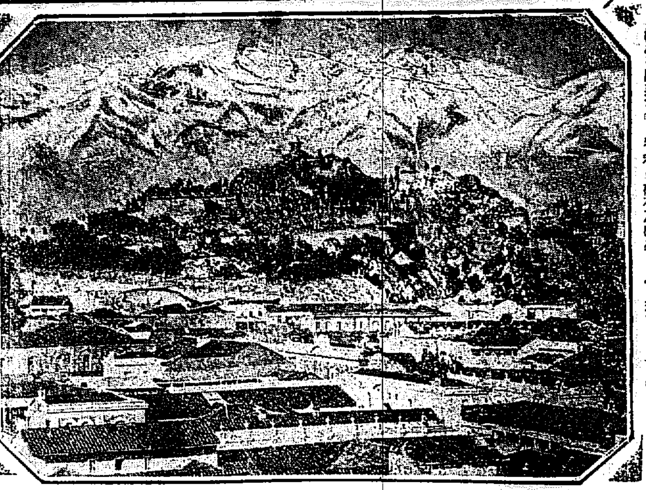
(紅)

資本金 壹千萬圓(拂込濟)
營業科目 綿絲綿布及一般輸出入貿易
營業所 本社 大阪市東區安土町二丁目五一
支店及出張所 東京、神戸、橫濱、上海、漢口、天津、青島、紐育、マニラ、カルカッタ

伊藤忠商事株式會社
取締役社長 伊藤忠兵衛
專務取締役 伊藤竹之助
取締役 伊藤忠三
同 村岸休五郎
同 筒井喜三郎
同 中村信太郎
監查役 伊藤孝太郎
同 古川鐵治郎

南浦母子殺後報

鎭南浦[illegible]町母子殺犯人逮捕の報は昨紙の通りなるが今其の顛末なる[illegible]鮮人[illegible](三二)なる者にして同人は十二日夜被害者宅に宿泊せるを夫三四郎が目擊し三四郎は當[illegible]三日三四郎は又々出漁せり然るに附近の者の語る處に依れば[illegible]三日鎭島に赴くべき筈の右鮮人は[illegible]居なる點と云ひ其筋にては唯一の嫌疑者とし右鮮人の搜索に務めたり右兇行は十四日より十五日に行[illegible]る形跡ある[illegible]事の追跡する處となれり加害者高[illegible]は京城御成町鮮人宿へ高利貨[illegible]ら兇器にて右手を負傷せし箇所を[illegible]し居るを睹め是を手懸りこ[illegible]し目下取調中なり(鎭南浦)[illegible]尙平壤よりの通信によれば平壤署にても該被害金時計を買取たるも[illegible]するに至りたるものなりこ



ロサンチアゴ市=秘露こ國交斷絕したる智利の首都=
南米『アンデス』連山の西方狹野の中にあり、屢々震災に遇ひしを以つて家屋は低れ平屋建なり、智利は砂石及びグアノ(鳥糞)を以て名高し

◎李王家の旨を奉じて 梨本宮家へ
國分次官より御緣組の趣を言上

今日しも我史上に例なき芽出度も芽出度き一日は來りぬ朝凪ぎの空に風吹く麻布鳥居坂の邊り王世子御用邸の紅葉一際色優りつるも[illegible]々し、此日午前十時こいふに李王職次官國分象太郎氏は李王家の旨を奉じて之れを梨本宮家に傳へ參らす可くフロックコートの禮裝にて仁木屬を隨へ世子邸備付の李王職自動車に搭じ梨本宮家に參進す赤坂青山北町七丁目なる梨本宮邸の松の緣濃き中を自動車の轍輕く軋れば宮家にては之れを[illegible]の間に招じ同宮家附宮內事務官坪井祥氏出で對應し國分次官は謹んで「李王殿下思召の趣きを傳へて王世子殿下方子女王殿下御緣組の申出でを爲し其旨言上御取次を請へば坪井事務官は之れを諒承して挨拶あり同十分國分次官は宮邸を退下し直に鳥居坂御用邸に歸りて其次第を其向に急電せるが梨本宮家にては右の次第を京都伏見なる師團長宮殿下に言上す可く即刻使者を御差遣あらせられたり、洩れ承るところに據れば宮家にては三日御親族會議を開かせられ四日鳥居坂御用邸に御挨拶ある事こなる可く斯くて梨本宮家李王家より夫々畏き邊に勅許の出願あらせらる可しこ(東京特電)

▽內地式にて執行れん
王世子殿下の御婚儀擧式は 多分三日頃發表されん

王世子殿下御婚儀は勅許の上御擧式の日取り多分三日頃發表さる可く御式は霞ヶ關離宮にて內地式に執行はる可し尙四五月の候王世子殿下同妃殿下御渡鮮の御用ひさせらる可き妃殿下の御服は既に李王職より京都高島屋に御下命あり近く出來の運びに至るべしこ(東京特電)

◎工業書類の讀者が多い
=最近の讀書傾向はどうか?=
小說は藤彥の讀者が落ち武郎が殖ゑた

京城にも近く圖書館が出來る計畫が進んでゐる、それについて、最近の讀書界は如何か、こ東京日比谷圖書館に調査を求めた報告によれば『當館は明治四十一年に創立されたので以來書庫が一杯で書棚の上に積む位にしてゐたが夫も場所が無くなつたので愈、書庫を增築することに決した次第で

▲閱覽者も以前は殆ど受驗生で充たされたのが近來は商人が殖ゑたやうだ、併し二三月の中學校試驗期や五六月の高等學校受驗期が一番閱覽者が多く六月は一日平均千百人だつたが十月は七百七十七人で其のうち婦人が四十人、近頃は五百人位で婦人の閱覽者は十七八人である

▲讀れる書籍 こしては工業上の書籍の多く讀まれるのは各圖書館一般の傾向で從來の文學語學ものに比して實業上の參考書籍が愛讀される樣になつた殊に投機書類が非常に歡迎されるが投機熱を煽動する樣な本は備へない、

▲小說類では 探偵物が歡ばれモーリスルブランの作物が一般に迎へられ飜譯物は一部の讀者に限られる傾向がある、風葉、紅葉、漱石、蘆花等の古い作品も却々讀まれるが藤彥の讀者が少し落ちて有島武郞の讀者が殖ゑた樣だ、婦人の閱覽者ではドストエフスキー作の『虐げられし人々』や『カラマゾフ兄弟』或はストリンドベルヒの『破壞』などが迎へられ『一葉全集』等も喜ばれるが最近に

▲支那文明史 支那哲學史陽明學派論こいふ樣な變つた本を讀んだ婦人もあつた、商人向きこしては世界の商工業の主なる名鑑、ケリーの『ダイレクトリー』が備へてある古書は無いが併し江戶の史料になるものは古いものを殊に蒐めてゐる慶長以來の地圖とか江戶時代の文學風俗の寫本とか東京の有名な料理屋の番附こか江戶或ひは東京に關係のある書籍は成るべく廣く蒐集して居るが近來は江戶趣味の研究者が非常に增加して來た樣である』こ

◎國學院大學改革
學長は芳賀博士

◇皇典講究所長、國學院大學長へ皇典講究所長は小松原英太郞氏◇

土方久元氏死去に付き其後任については同所顧問協議員にて種々銓衡の結果此程協議員會を開き所長には小松原英太郞氏を國學院大學長には東京帝大文科大學教授文學博士芳賀矢一氏こ決定し小松原氏は就任を承諾あり芳賀博士も赤山川東京帝大總長の承認を得たる後

◇就任の ことゝなるべく同時に是れ迄の國學院大學監制度を廢し多年同學監こして功勞ありたる杉浦重剛翁を顧問に推薦し理事

◎赤旗の獨逸首都
伯林市民は敗北に無關心なり

伯林市中は今や光景一變せり到る所赤旗翻り兵士は將校に敬禮を爲さず、皇室自動車は兵士を滿載して市中を馳驅し、市民は敗北を見るこ全く無關心の狀態にて彼等は此態度が政府を顚覆せんこして勢力を張りつゝある者の爲め利用されつゝあるものなるにも關らず唯だ傍觀するのみなり(倫敦電報)

◎大邱の霧氷へ
大邱測候所長談

◇一種の氷晶 廿日朝大邱地方は郡外一面濃霧に蔽はれて一寸先も見わぬこいつた樣な珍現象を呈した、之れに就いて日詰大邱測候所長は語つて曰く此霧は霧氷こいつてある、昨朝五時頃から氣溫が降下して漸次に霧が發生したのであるが夫れが次第に增大して八時頃には僅に十米突先が見わぬこいふ樣な始末になつたのである、元來此霧氷なるものは寒中一時に氣溫の激下した時に氣中の或る物體に宛然鳥の羽の如な形をして發生する一種の氷晶である、北の方の極寒地には往々此現象を呈するが暖かい南鮮のしかも大邱地方に此珍現象を呈したのは初めてである(大邱)

◎獨軍に荒された白國の道路
延長千幾百哩を改修する

過般來朝した米國鐵道王ヒル氏は曰く『獨逸政府の委囑を受け、今度の大戰で狂暴なる獨軍の爲に破壞せられたる白國內の道路改修に當る事こなり目下米人二十人が準備をして渡白する筈だこ云ふ白國の破壞された道路は延長千幾百哩に亙るこ云ふから如何に獨軍が狂暴を逞しうせしかが分る

◎『窮民と勞働者は同一ではない』
=と組合組織に著手 勞働問題は之より以上倫理問題

◆自覺ある勞働者等は漸く緊張して來た◆

此頃世間には戰爭終末こ同時に俗物かが動いてゐる、用意に對する安でゐてそれで緊張した一脈の何後感こでも言へやうか、勞働者の仲間でも『窮民こ勞働者は決して同一でない』こいふ

自覺を持つた人々は勞働組合組織に著手し始めた、東京三田四國町統一教會內に本部を置く東京鐵工組合は近頃詳細を極めた規約を發表した、夫れには組合員の

組合の 機能發揮技術の進步を圖るは素より事業こして職業紹介、共濟、敎育、出版

法律顧問 まで行ふ事になつて組合員の權利義務も頗る合理的に行はれ得るやうになつてゐる、此組合に刺戟されて近く神戶市にも東京こ同樣鐵工に據つて組合が起される事になつた鐵工、活版職工なごは勞働者中でも進步した知識を有するものであるから切實に

必要を感 じ得る素質を具有してゐる、神戶の何處に本部を置くか、それは實際まだ確定していないやうだし出來上るまでは發表するを好まないが、夫れが實現される機運に向つてゐる、ドウも未だ勞働組合を認める法律がないやうな今日の狀態であるから組織しても却々

骨が折る だらうこ思ふが勞働問題の解決は經濟上の問題である以上に倫理問題こして解決せねば徹底は期し難いやうだこ某社會研究家は語つた

◎龍山騎砲中隊の新兵
六日入營の筈

龍山騎兵中隊及び野砲兵中隊の新兵は來る六日入營すべく內地よりの入營者は同日午後五時四十九分龍山に到着すべしこ

◇詠進者へ (2)
至尊も一々御目を通し給ふ

明治天皇が民間詠進の途を御開き遊ばされた御本旨は申すまでもなく中世以降近世に亙つて頗に衰微したる歌道の復活を謀り給ふこ同時に一つは國家敎養の資に供し、一つは御直々に國民の意志を問はせられんが爲であつた、國民に取つて之程

▽光榮な 事はない、去れば國民はよく〳〵此御主旨を奉戴し歌こ云ふものを解し得る限り巧拙を論ぜず又貴賤貧富の別なく進むで詠歌を奉るやうに心懸けねばならぬ、斯くて始めて明治天皇の御徹底に叶ひ又其聖旨を御繼承遊ばされたる今上陛下の

▽大御心 に添ふ所以である、每年御歌所に集まる詠進歌は幾萬こ云ふ數に達するが書式に違反しない限りごんなに文字が下手でもごんなに歌が拙くても決して粗略には取扱はれぬ、國民の多くは預選に入らざる詠進歌は恰も御歌所の

▽紙屑籠 を埋むるものゝやうに思つて居るが、是は抑も誤解で假令預選の光榮には與らざるこも、總ての詠進歌は相當の式を終つた後叮重なる取扱ひの下に—一纏になつて居るものは一々火熨斗を掛けた上裏打ち迄もして—百枚宛を一冊に綴り立派に製本して

▽乙夜の 覽に供するのである 陛下は又恐れ多くも每年の詠進歌に多大の御興味を濺がせ給ひ一首の御漏らしもなく御覽になるのであるから全部悉く御覽濟みになるには八日頃迄を要し給ふこ承る、假令預選に入らずこも是で詠進者の意志は充分に屆く譯で無上の光榮こ云はなければならない。

◎年末の贈答品
どんなもの… ◆ドン〳〵賣れる◆

市中各商店は一日から申合した樣に贈答品の賣出を始めたので年末氣分は俄に濃厚こなつて街行く人の足も何處こなく荒々しい殊に人出の日は日曜日の事こて非常の人出であつた今年は一般に景氣が好い上に

◇賞與も ウンこあるこ云ふので氣持ちのいゝ程買て行く中にも日記類の如きは先月の中頃からドン〳〵賣てモウ品切れになつたものさへある斯んな始末で各商店は何れもニコ〳〵ものであるソコで今年は如何なる贈答品が賣て居るかに就いて調べて見るこ

◇文房具類 は箱入卷紙及び箱入狀袋(五十錢以上三圓)組合せ文房具(六十錢以上二圓五十錢)半紙類(五十錢以上一圓)其他商品券(北內商店調)

◇書籍類 は書籍商品券を第一位こして日記類(五十錢以上一圓)カルタ及びトランプ(七十錢以上三圓)硯箱(二圓以上五圓)クリスマスの贈答品こしては、ウオターカルス、エアエリーコンス、ライブラリー。メーサンスライブラリー(以上一圓十錢位)が主に賣れて行く又一寸上等物になるこ萬年筆の贈答が多く値段は大體五六圓處である(大阪屋書店調)

◇吳服及雜貨類 はショールの四五圓から廿圓位の處がよく賣れ吳服類は大體商品券が使用される其他は京出來の茶、新草ラスリ、翠斗イカ、メリヤス類、下駄三越特選石鹼箱(一圓以上三圓)漆器(二圓以上廿圓)家具(七圓以上五十圓)酒器(二圓以上六圓)等は年末こして四五圓より廿圓迄の食器類がよく賣て行く(三越支店調)

◇鰹節砂糖 鰹節は二圓以上三圓の處が最も賣行よく砂糖は十斤箱入一圓九十錢、新物こしては數の子樽詰(五百目箱入)二圓位が弗々賣れ出して居る(赤星物產調)

◎獵友會の腕比べ
京義線一山驛附近にて

朝鮮獵友會の天狗連は來る七日出發京義線一山驛附近を獵場こして翌八日拂曉より活動を開始し同日午後七時廿五分南大門驛着の列車內にて歸京の筈なるが是より先同車內にて獲物の審査を行ひ一等(金メタル)以下十等まで美事なる賞品を授與すこ云へば當日は一層の活氣を呈すべく獲物の審査標準左の如し

猛獸百點▲獐五十點▲狐三十點▲山猫、狸二十點▲雉、雁、田鴫、兎各十點▲鴨七點▲鶉鴫五點

懸賞 新年文藝 募集

課題 和歌(「若菜」)▽俳句(「雙六」)▽川柳(「鮨」)▽俗謠(「嫁入」)▽ものは付「明るい物は」▽一口噺「不和に關するもの」▽下句付「アラ嬉し」▽謎「講和こかけて」

制限 (一人に付)一題一首又は一句、但し一人に幾題投稿するも可し(用紙)葉書又は同型の紙(〆切)十二月十五日(注意)題徑に明用紙に認むる事、京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品 (各題に付)▲一等一圓(一人)▲二等五十錢宛(二人)▲三等卅錢宛(三人)(但し本社代理部の相當書籍券贈呈)

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲一口噺時事

◎讀者『何こ云つてもウイルソン氏は世界の花形役者だな』熊公『そんな人の出る芝居は隨分入場料が高いだろうな』(一等) 平北 寄峯生

◎『今に葉書が二錢になるこさあはてもの『〆た早く今の內に買占めて置かう』(二等) 仁川花町浴浦 秋月

▲教師「諸君は何故今度の休戰條約の成立が嬉しいのですか」生徒「ハイ戰爭が終ると私等の休みが一日增ますから」群山榮町 高山正二

▲讀者『土地調査終了の結果氷占やも大分少くなつたさうだ』三公『さうだらう仁川でさへドックだけ廣なつたもの』(二等) 春川 西村秋芳子

▲謎 (一等なし)

寫眞 寫眞出張撮影、亞鉛版 寫眞銅版 結婚其他記念撮影等最も廉價に御需に應ず 京日寫眞製版部

佐野義三 大阪より告ぐ 父母非常に心配居所知らせ

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九

鐵道拂下品販賣 冬羅紗洋服外套 毛皮胴着並防寒具 軍隊拂下品一式 和洋古中衣服類各種 特製品コート詰衿折衿洋服 品長トンビ大小萬套大外套婦人 有多少に不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目 金子奥市商店 電話長一〇五番 振替口座京城三八二三

最新刊

書名	著者	定價	送料
帝國の使命こ青年の覺悟	田中義一	一圓五十錢	八錢
科學こ犯罪	寺田精一	二、〇〇	一二
食物の經濟	澤村眞	一、五〇	八
露國革命記	布施勝治	二、〇〇	八
文化より見た[illegible]	[illegible]	一、三〇	六
裏門から	關[illegible]香	一、五〇	八
動物の心	[illegible]	定價壹圓五十錢	送料十二錢
支那正觀	有賀[illegible]	一、二〇	八
[illegible]	[illegible]	一、〇〇	〇
佛教素行調査	[illegible]	一、三〇	六
譯初戀	生田春月	定價壹圓	送料八錢
修養の力	後藤新平	一、二〇	六
良妻賢内助の力	平間力之助	一、七〇	八
運命の丘	島村抱月	三八	〇四
少年日本外史		三〇	四
馬鹿の小猿	京木三重吉	六〇	六
博物館陳列品圖鑑		定價壹圓	送料拾貳錢

京城本町 大阪屋號 電話六四八番 振替京城二五七三番

京日案內

▲市內市外後送拂戰中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に割引の事 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲普通七拾錢 一回前金

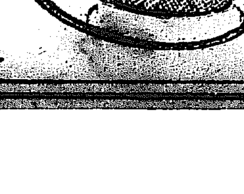
留外 レール車輪讓受たし 十二封以上完全なるもの 京城南大門外 中根商會

寫眞技師及助手各一名經驗ある入用 京城明治町一丁目 秋山寫眞館

◎男女社員募集 廿五歲以上 但し一定の給料に確實の保證人要二名 市內に歩合を支給す 黃金町シンガーミシン會社

新學期 鮮語科 英語科 三ヶ月卒業 各級補缺 外人三名 出募 南大門通り一 京城青年會

●醫師代診生招聘 希望者は寫眞及履歷書並に給料其他希望事項を記載し至急申込まるべし 平壤大和町 藤本病院



除隊の諸君 入營の諸君
平素の御愛用を謝して一層の御健康を祈り升
森永ミルクキャラメル

▼パイン獨特繰出式萬年筆▲ 割引販賣(十二月一日より翌一月十五日迄)

一點申分なき他追賞花付の
書くに自由自在の快味あり『パイン』にあらざれば眞の萬年筆を語るべからずとの定評あり
定價 最新繰出式 六圓八十錢 同 金飾付 八圓八十錢
割引價 最新繰出式 五圓八十錢 同 金飾付 七圓八十錢
此際此の御愛顧に酬ゆる爲前記の通り割引販賣可致候間續々御用命願入候
發賣元 京城太平通(電話長六〇〇九番・振替京城三〇〇番) 京城日報社代理部

京城太平町二丁目七十三(太平町大通り) 入院隨意 片山內科醫院 電話一九五一番 片山信夫

完全なるまで染らから
ナイス
自然の黑髮に染る
■五大特長
▲タッタ二十分で染る
▲自然の色艶に美く染る
▲襟、枕、に汚染の憂なく
▲洗て剝す、毛癖を矯し
▲用法至極手輕便利也
價 ▲大瓶七十錢▲小瓶四十錢 ▲男子用三十錢
全國各化粧品小間物店及藥店に取次す
發賣元 大阪 東京 丹平商會

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

と子 三十九

北島春石作 森田久畫

秘書役(二)

それまで、二三度ほど女の聲で電話がかゝつたが、神崎社長の秘書役として勤めてゐる佐久間證一は、如何にも眞面目臭つて精勤振を發揮してゐたが、やがて午後四時の退出時間になると、手早く帳簿類を片付け、跡はおなじ秘書役の細井に頼み、黒の中折帽にオーバーコオト、銀頭の把柄のついた洋杖を打振りながら、誰よりも先に日鮮興業會社を飛出した。

そして、帝劇の裏手に當る停留場まで來懸ると、隼のやうな鋭い眼を働かせて、一通りつと四隣を見廻したが、約束の女の姿が見當らぬに舌打ち高く、右手をポケットへ突込んで取出した葉卷に、シュッと燐マッチを擦付けてさも美味さうに一喫。

いくらの月給を取るかは知れねど、まづ朝日か大和が身分相應なのに、これは些と贅澤すぎると思つたらば、社長の愛用せるそれであつた。さてはこの男、いつの間にか天勝の弟子入をしたものと思はれる。

『ちよー高松め。』と、冷やかに肩を揺すつて嘲笑ひながら『猾狡い奴だ、共謀になつて巧く遣りやがつたな。だが、今にあの金を巻上げてくれるから、その時吠面をかくぬ要心をすべしだ。』

四隣に人影も見えぬからいゝものゝ、萬一こんな獨り言があの殿樣の耳にでも入つたら、彼は即座に龍宮の憂目に遭はずばなるまい。

彼は美味さうに葉卷を一喫、帝劇の横手について、お濠端に出た電車路に立ち出づると、

『佐久間さん……あら何處へ行くの。』と、未だ若々しい女の呼び聲。

證一はピタリと足を止め、聲する方は何處ぞと、例に依つて隼の如き鋭い眼を働かせる。

もう大方は葉を振つた枯柳の木蔭を、二時間も前から人待ち顏に行きつ戻りつしてゐたのは、女風の十八九になる娘で、

『佐久間さん……こゝよ、あら、何處を見てるのよ。』と又呼ぶ。

『やー淡紅子さん。』

急ぎ足で此方へ近寄つた證一は、もう隼のやうな鋭い光は消えて、その眼には浮氣娘を魅するやうな戀の輝きが閃いてゐた。

しかに、淡紅子と呼ばれた若い女は怨めしさうに、

『隨分待たせてね。』

『だが、約束の時間は四時半……それとも違ひましたかね。』

『だつて、佐久間さんは浮氣ものですもの。會社が退けると何處へ行くか知れないから、大急ぎでお晝食を濟ませると、すぐ中洲の家を出かけ、もう四時間近くも待つてゐたわよ。』と大袈裟に出る。

『ちや、大方そこらの小待合ばいりを……僕は眞面目に聞いてゐたが、先刻の電話はそこからだな。』

『あら一何ですつて。』

『いや、昨今は惡性の風邪が流行るから、ちと御要心あそばせと言ふことさ。』

『い・わー』と、淡紅子はツンとして『佐久間さんは……わたしを疑つていらつしやるのね。』

『さあ、何う云ふものだらう。』と、ちらりと女の顏に鋭き一瞥『自分の心に聞くのが一番よく解りさ。』

『ね、何うでもおつしやい。』

措きさうに下唇を嚙んだが『何うせさうよーわたしや貴郎に嫌はれてるんだから。』

『さすれば、何うしますね。』

『生きてゝも甲斐ない命……いつそ破れたこの身を自ら殺すばかり。』

『ちや、さうまで僕を慕つてくれるんですね。』

『そんな事を……改めてお聞きなさるまでもないでせう。』

『乾度ですね。』

『え、。』

『それぢや、二人が結婚せんとするに就て、約束通りお母さんに話つて見ましたか。』

□成田校長の病

胃癌にあらずして腹石症なり

父 成田頼則談

[illegible]じ居候 十三日朝發信 [illegible] 十二日午後五時認む、容態は別に變る事無之候、三宅博士、[illegible] て未だ出勤無之色々と受診[illegible] 中に之候昨日はX光線撮影後、液査、胃洗滌、本日は午前より一時半より四時まで十二回尿の檢査(始の[illegible]葡萄糖を百五十グラム飲み十分間置きに六回、三十分置きに六回)を致し候愛に角非常に殿密に診察するには驚き入り候結果は未だ判然せず明日は今少し具體的に容態を聽き得る事かと存[illegible]

十一月三四兩日も女學校學藝會[illegible]やらにて午後十一時頃歸宅時々[illegible]七日福岡を向け出發、八日『アジツイタ』電[illegible] 九日發信、今日森博士の紹介狀を添へ大學病院[illegible]三宅博士の診察を受け[illegible] 胃癌のやうにもわり[illegible]の診察を受け[illegible] 十日發信、本日午後三時入院東館九病棟の三等室に收容致され候一等、二等は滿員にて候明日は嚴密の檢査ある筈、當病院外科部長三宅博士は日本唯一の內臟外科の名國手に有之候(下略)

十一日發信、昨日は午食より絕食し[illegible]胃の洗滌なし今朝胃液を取り[illegible]待つて嗅ぎ[illegible] 研究中に[illegible] 或は[illegible]でなくてすむかも[illegible]

十四日午後一時發信、愈明日手術致す事に決定致候本日主任醫師診斷の經過を聽き取り候處最初誰が見ても胃癌たる事疑ひなかりしも光線にての檢査は必ずしも癌にあらざる結果を示したる試驗は腫瘍の病等にあらざるや疑ひを起し眼の試驗や尿の精細なる試驗をなしたれども何れも反應なく又結核性のものにあらざるやこてこれも試驗を致したれども北の反應なし要するに多く癌腫性のものか然らざれば他の惡性の腫物か何か出來居るものとの事各方面よりの推論に到着し兎に角[illegible]して取り去らねばならぬ[illegible]切除取り去つて根治し若し取り去る事が困難にて生命に危險ある樣のものならば其の儘にたゞ他に之が障害の起り得る様な處置(例へば胃、腸との吻合)を施す等の方法を爲すべし[illegible]

十五日午後五時附添ひ實弟より[illegible]十七日午前五[illegible]臨終五分前に左の一首を手帳に留む

誠をばおのが守りと定め置きてふむべき道をたがへざりけり

[illegible]

○郵船歐路復舊

休戰條約成立の結果地中海に於ける危險一掃せられたるを以て郵船[illegible]

日報歌壇

○別離 高須賀獸

[illegible]

○留別 篠崎潮二

[illegible]

□山茶花(五の日十の日付)

浮碧樓

ある日は山茶花の問ひの明りにいつはられてもなまじ母が髮を解かれた山茶花のひるすぎ

芹郎

山茶花の一輪の白よ弟は朝居らぬ
つまつた納屋の山茶花よ落日の山の重なり

三

山茶花が咲いて後備兵が肉を煮る
會をして山茶花が咲く裏門で動けなかつた朝なり

鳥堂

雨戸閉めきつて山茶花の蕾我家ある
強い信念の山茶花の上の青空

不考

顏がゆるゝよ山茶花がゆるゝよ酒
男女したし山茶花をはなれ惑はた

皮膚科 泌尿器科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

◎ミツワ石鹼(みつわせつけん)

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等、各用途に從つて其の種類が異にすと雖ども而かも皆等しく遊離の苛性亜爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことゝなりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、尙ほ香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり

本舖 ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人參葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元 登錄商標

東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店

電信略號◎ミヤ……振替口座東京七一〇〇番 營業部電話浪花三〇四八、三四九〇、三五〇五番

種類	
大形	金貳拾五錢
中形	金拾八錢
小形	金拾貳錢
極小形	[illegible]
水石鹼	金五拾錢

內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochondria, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are feeble and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる ◎ミツワ人參錠(みつわにんじんぢやう)

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、胃腸炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

本劑は鎮靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其醫治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性胃腸炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰、諸因を去る等卓効を奏す。

適應諸症

一、頭が重く或は頭內が陰鬱とする人
一、眼の疲れ易い人
[illegible]
一、些細の事をも氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、何事にも悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良な人
一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
[illegible]
一、精神の疲勞を早く治したい人

(現品縮寫圖)

共同汽船出帆 [illegible] 共同丸 十二月四日午後 [illegible]

朝鮮郵船出帆 [illegible] 平安丸 十二月一日 [illegible] 平壤丸 十二月一日 [illegible] 山陽丸 十二月六日 [illegible] 咸鏡丸 十二月八日 [illegible] 穩城丸 十二月一日 元山發 [illegible] 越後丸 十二月八日 [illegible] 京畿丸 十二月五日 [illegible] 咸鏡丸 十二月四日 [illegible] 吉野丸 [illegible] 昌平丸 十二月二日 釜山發 [illegible]

五光商會 廣告 [illegible]

尼崎汽船出帆 [illegible]

日本郵船出帆 [illegible]